



第3期 長洲町スポーツ推進計画

NAGASU TOWN

令和8年3月
長洲町教育委員会

目次

長洲町スポーツ推進計画の改定にあたって

第1章 第3期長洲町スポーツ推進計画の概要

1 計画の性格	1
2 計画の期間	2
3 長洲町スポーツ推進計画の体系	2

第2章 基本構想

1 基本理念とめざす姿	3
2 基本施策	3

第3章 スポーツ推進の具体的方策

基本施策1 ライフステージに応じたスポーツの推進

(1) 子ども世代のスポーツの推進	5
(2) 成人世代のスポーツの推進	7
(3) 高齢者世代のスポーツの推進	8

基本施策2 スポーツによる共生社会の実現

(1) NPO 法人長洲にここクラブの育成・支援	10
(2) スポーツを支える人材の育成	11
(3) 「する」スポーツの支援の充実	14
(4) スポーツを通じた健康増進	15
(5) パラスポーツの推進	16

基本施策3 スポーツ環境の充実と推進

(1) 身近なスポーツ活動の場の提供	18
(2) スポーツ施設の整備・拡充	19
(3) B & G財団及び各種スポーツ団体の連携	20
(4) スポーツ情報の提供	23

第4章 計画の推進に向けて

1 実現に向けた各主体の役割	24
2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し	26

第3期長洲町スポーツ推進計画策定に関する審議会委員名簿	27
-----------------------------	----

資料編

アンケート調査結果	28
-----------	----

長洲町スポーツ推進計画の改定にあたって

スポーツの価値や社会的役割の重要性が高まる中、国は平成23年8月に「スポーツ基本法」を施行し、令和4年3月には第3期スポーツ基本計画を策定しました。

この、第3期スポーツ基本計画では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーを発展させる取組に加え、新たに次の「3つの視点」が提示されました。

①スポーツを「つくる／はぐくむ」

— スポーツを創り出し、育てていくことで、持続的な発展を目指す。

②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる

— 世代や立場を超えて人々が集まり、共にスポーツを楽しむことで、社会的な絆を深める。

③スポーツに「誰もがアクセス」できる

— 障がいの有無や年齢に関わらず、誰もがスポーツに触れられる環境を整える。

さらに、第3期スポーツ基本計画では「スポーツによるまちづくり」にも言及しており、スポーツを楽しみ、振興することにとどまらず、その持つ楽しさ・感動・共感といった力を積極的に活用し、地域住民の健康増進や地域活性化、さらには地域経済の課題解決につなげることで、地方創生やまちづくりを実現するための重要なツールとして位置づけています。

また、熊本県では、令和6年12月に「熊本県スポーツ推進計画」を改定しました。この計画は「スポーツによる人が輝く豊かなくまもとづくり」という基本理念を引き継ぎ、県民がスポーツを通じて健康で豊かな生活を送れる社会の実現をめざしています。

本町では、町民の皆様が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」、そして「する」「みる」「ささえる」といった多様な関わり方の中で、積極的にスポーツに参加できる環境づくりを進めています。

これらの取組を通じて、スポーツを通じた健康増進と地域のつながりを深めることを目的とし、“スポーツの力”によって「活力ある、明るいまちづくりの実現」を目指し、町民の皆さまとともに歩みを進めてまいります。

今後とも、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

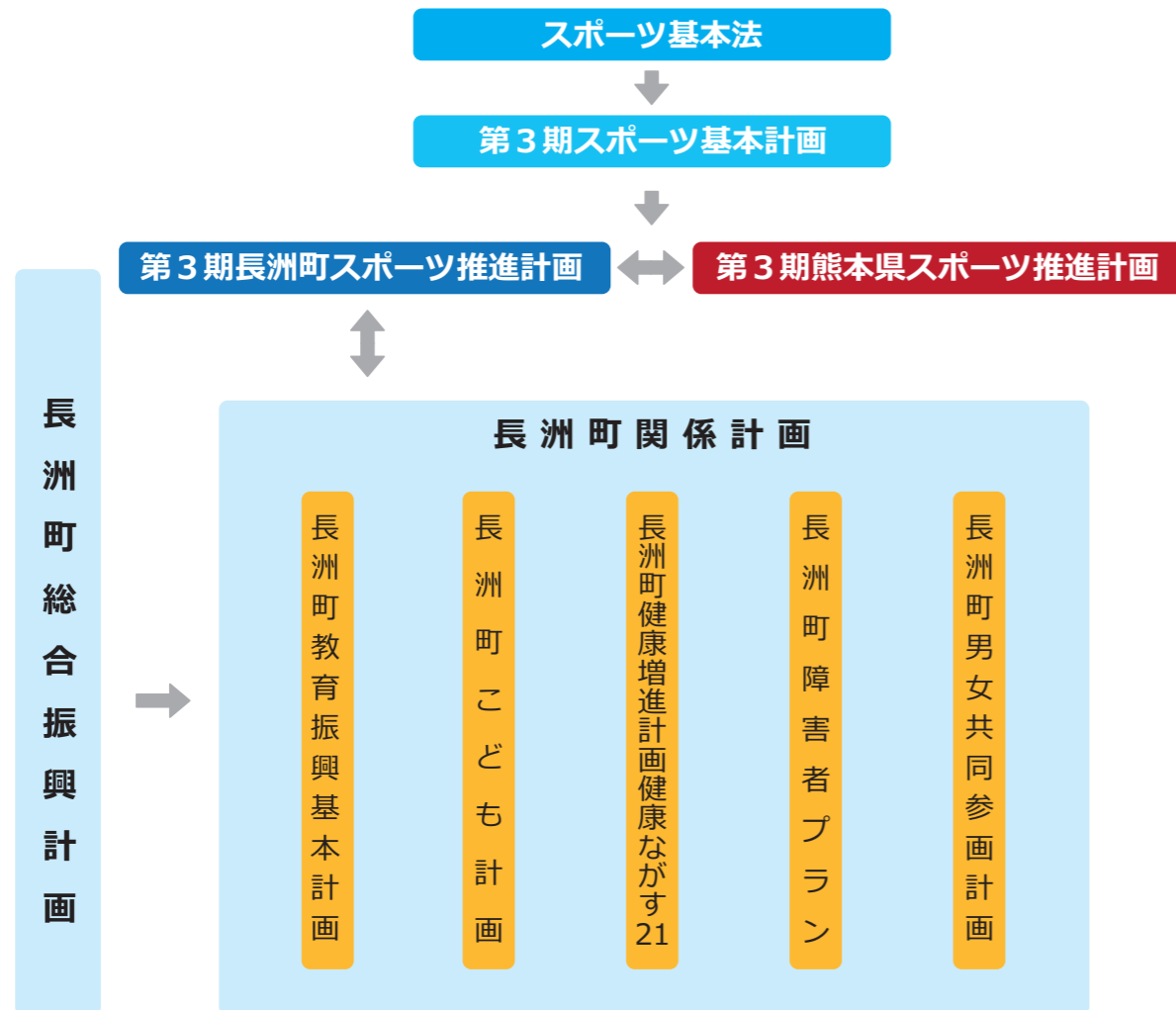
令和8年(2026年)3月

長洲町教育委員会

第1章 第3期長洲町スポーツ推進計画の概要

1 計画の性格

- (1)この計画は、町民がそれぞれのライフステージや興味、目的、適性等に応じて、生涯にわたって、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で積極的に関わり、スポーツに親しみ、楽しさや感動を分かち合い、心身ともに健康で活力のある社会を構築するための基本的な方向性を示すものです。
- (2)この計画は、「スポーツ基本法」に基づくとともに、国が策定した「第3期スポーツ基本計画」を踏まえ、本町がめざす生涯スポーツ社会の実現のため基本的な方向性を定める計画であり、中・長期的視点に立って本町の実情に合わせスポーツに関する施策を総合的・計画的に推進するものです。
- (3)この計画は、今後5年間でどのような施策に取り組んでいくかを明らかにし、施策の展開に当たっては、町教育振興基本計画との整合性を図りながら、関係機関、スポーツ関係団体等との連携・協働のもと、一体的な取組を推進するものです。



2 計画の期間

この計画は、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの概ね5年間の計画期間とします。

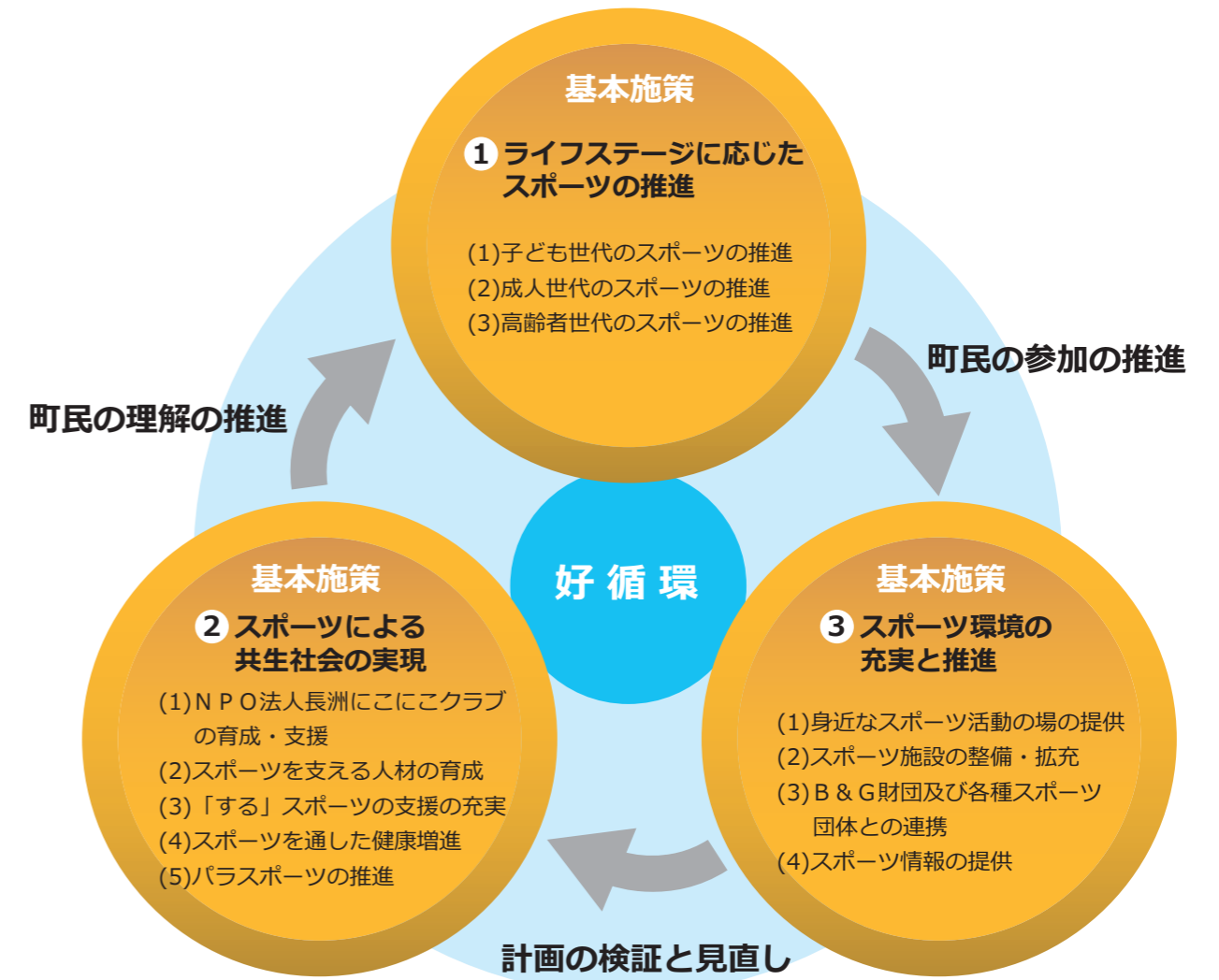
3 長洲町スポーツ推進計画の体系

基本理念

“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり

めざす姿

町民すべてが、年齢や障がいの有無にかかわらず、それぞれの身体状況に応じて日常生活の中でスポーツに親しみ、楽しさや感動を共有できる環境を整えます。
そして、互いに支え合いながら健康で明るく活力ある生活を実現し、スポーツを通じて地域全体が元気になることをめざします。



1 基本理念と目指す姿

基本理念

“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり

めざす姿

町民すべてが、年齢や障がいの有無にかかわらず、それぞれの身体状況に応じて日常生活の中でスポーツに親しみ、楽しさや感動を共有できる環境を整えます。

そして、互いに支え合いながら健康で明るく活力ある生活を実現し、スポーツを通じて地域全体が元気になることをめざします。

2 基本施策

基本施策1 ライフステージに応じたスポーツの推進

子どもから大人、高齢者や障がいのある人等、町民の誰もが生涯にわたり、明るく豊かで、活力のある生活を営むために、それぞれの興味、目的、適正等に応じて、また、スポーツを特別なことととらえずに、日常生活の中で自然に親しむことを実践できる環境づくりを推進していきます。そのことによって、スポーツの価値を享受し、町民がスポーツに親しむ機運をより一層高めていきます。

基本施策2 スポーツによる共生社会の実現

スポーツは「みんなのもの」です。人々が「する」「みる」「ささえる」など様々な形で積極的にスポーツに関わり、楽しみや喜びを得ることで、それぞれの人生をいきいきとしたものにできると期待できます。

また、スポーツを通じて人々が「集まる」「つながる」ことで、スポーツの価値を共有し、意識や行動を変えていくことが可能です。こうした取り組みにより老若男女や障がいの有無、国籍を問わず、すべての人が分け隔てなくスポーツに親しむことで、心のバリアフリーや共生社会を実現するよう努めます。

基本施策3 スポーツ環境の充実と推進

スポーツ施設の整備・充実と町民のスポーツ活動を支える支援体制の整備はスポーツを推進するための基盤として極めて重要です。町民のニーズに応えるために実態把握を行い、町民が日常的に誰もがスポーツ活動に親しみやすい環境づくりに努めます。また、社会状況の変化や多様化する町民のニーズに対応するため、運動・スポーツの推進に係る行政組織間の連携や健康・体力づくりに取り組むスポーツ関係団体等との情報の共有を図り、スポーツ環境の充実をめざします。



基本施策1 ライフステージに応じたスポーツの推進

町民のライフステージを「子ども世代」「成人世代」「高齢者世代」の3つと捉え、それぞれのステージに応じたスポーツの場を提供します。併せて、本計画の基本理念である「スポーツの力で活力ある・明るいまちづくり」に取り組んでいきます。

1 子ども世代のスポーツの推進

施策の現状と課題

日本では、幼児期の運動習慣形成に向けて文部科学省やスポーツ庁が取組を進めており、「幼児期運動指針」では、毎日合計60分以上、遊びを中心に楽しく体を動かすことが推奨されています。

調査によると、運動頻度が高い幼児はスクリーンタイム^{※1}が短く、親子で運動する機会が多いほど総運動時間や社会性が高い傾向があります。これは保護者の意識や行動が大きく影響することを示しています。

今回、実施した幼児や小・中学生に対するアンケートでは、運動やスポーツを好きな子どもが大多数を占める結果となっていますが、十分な習慣が身に付いていない子どもや運動・スポーツを好きになってもらうための支援は依然として必要となります。

今後は子どもたちの体力状況を継続的に把握し、実態に即した効果的な体力向上策を確立していくことが求められます。

※1 スクリーンタイム・・・スマートフォン、タブレット、パソコン、テレビ、ゲーム機など「画面つきの電子機器」を使用している時間

具体的な施策内容

◆中学校部活動の地域展開（移行）

- 現在、一部の部活動が地域指導者による地域部活動へと移行し、一部を学校部活動として実施しています。
今後はNPO法人長洲にここクラブ(総合型地域スポーツクラブ)との連携や地域での指導者の確保を図りながら、早期に平日、休日ともに地域展開として完全移行します。

◆トップアスリートとの交流促進

- オリンピックや世界大会等への出場選手など、高い技能や実績を有する各種トップアスリートを招き、子どもたちが体験談を直接聞き、目にすることができる教室の開催や指導者の指導力向上にもつなげるNPO法人長洲にここクラブ等が行う、「トップアスリート指導によるスポーツ教室」等、トップアスリートと住民が直接触れ合う機会の提供に努めます。

◆スポーツ活動の充実

- 子どもたちが楽しみながら積極的に身体を動かし、発達段階に応じて身に付けておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムの導入による子どもの運動能力向上を図るため、幼児・児童のスポーツ活動を通じた健全で健やかな身体づくりとして、NPO法人長洲にここクラブによる「小学校水泳教室」などのスポーツ活動への支援を図ります。

◆子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実

- 町スポーツ協会の各種目協会との連携によるスポーツ活動など、子どもたちのスポーツ活動への参加をより促し、子どもたちがいろいろなスポーツ活動に参加しやすい環境を整備するため、各種スポーツ大会等のスポーツに親しむ場や機会の拡充を図ります。

◆各種スポーツ教室等の開催支援

- 子どもたちの心身の健全な発育・発達をめざし、町スポーツ協会及びNPO法人長洲にここクラブなどによる多彩な運動教室の開催を支援し、子どもたちがいろいろなスポーツに出会い、スポーツを始める機会を提供します。また、ジュニア世代の選手の育成や競技力の向上をめざして活動を行っている地元スポーツクラブ等に対する活動支援を図ります。

◆海を活かした海洋教室事業の展開

- 豊かな海を活かし、海洋体験プログラムや環境学習を通じて、地域の自然や文化に触れる機会を提供します。カヌーやSUP※2などの海洋体験、ビーチクリーンを通じた環境学習など、体験を通じて海の大切さを学び、楽しめる場をつくります。
また、町内外へ地元産の海産物や風景、歴史などを発信することで、地域の魅力を広く伝え、観光や交流の促進にもつなげ、海とともに生きる地域の未来を育んでいきます。

◆個人競技の振興

- 町民アンケートの結果からもバドミントンや卓球、eスポーツなどの個人競技に対するニーズが高まっています。天候に左右されず、年齢や体力に関係なく楽しめるこれらの競技は、健康づくりや仲間づくりにもつながります。そこで、誰もが気軽に利用できる初心者向けの教室、地域大会の開催などを通じて、スポーツを身近に感じられる環境を整えます。

※2 SUP・・・「Stand Up Paddleboard(スタンドアップパドルボード)」の略称。
ボードの上に立ち、パドルを漕いで水面を進んでいくウォーターアクティビティ。

2 成人世代のスポーツの推進

施策の現状と課題

町民アンケートによると、仕事や家事・育児で忙しく時間がないために、スポーツや運動を行わない人が多い結果となっています。こうした状況を踏まえ、手軽で効果的に取り組めるスポーツ活動の推進が必要となります。

町民が生涯にわたり健康や体力を維持・向上できるよう、特に実施率の低い「働き盛り世代」や「子育て世代」への働きかけを強化することが求められます。

具体的な施策内容

◆魅力あるスポーツ大会・イベント等の開催

- 町主催のスポーツ大会等のより一層の推進に向け、町民、各種団体、参加者の意見を聞き、ニーズに合った事業内容等の見直しを行い、スポーツを楽しむことができる機会の充実を図ります。

◆スポーツ出前講座の開催やスポーツ用具等の貸出し

- NPO法人長洲にこここクラブやスポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツ等の普及を目的とした体験会の開催や地域・団体へのスポーツ用具等の貸出により、気軽にスポーツ活動ができる環境整備を図ります。

◆スポーツ大会等への民間等の力の活用

- 町主催スポーツ大会やスポーツ教室等、各種スポーツ事業の推進について、長洲町スポーツ協会、NPO法人長洲にこここクラブなどや民間企業の力の活用により、関係団体と連携を継続しながら、さらに魅力的で効率的なスポーツ事業の推進を図ります。

3 高齢者世代のスポーツの推進

施策の現状と課題

高齢者を対象とした健康体操、運動等の運動教室が行政、NPO法人長洲にこここクラブ及び各行政区によりそれぞれ行われ、高齢者の健康・体力づくりやコミュニティづくりの場となっています。

今後も、高齢者の健康づくり・体力づくりを継続的かつ効果的に行えるよう関係団体の連携のもと無理なく実施できるスポーツ・レクリエーションプログラムを活用するとともに、できるだけ多くの人に参加できるように普及・啓発に力を入れていく必要があります。

具体的な施策内容

◆関係部署や関係団体への各種支援

- 親睦・交流や体力・健康づくり等を目的として開催されている老人クラブ連合会スポーツフェスタや各種グラウンドゴルフ大会など、スポーツ大会等の開催を支援します。
- 高齢期になっても可能な限り自立した生活ができ、充実した毎日を過ごせるように、65歳以上の方の介護予防を目的とした体力向上につながる健康体操、脳を活性化させるプログラム等、介護予防・元気づくり事業に取り組みます。

- 健康でいきいきと、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう、健康づくり・体力づくりへの意識を高めるとともに、自分の身体の状態を把握できる場を提供します。

◆地区公民館（介護予防拠点施設）での手軽な健康教室への参加促進

- 高齢者が長年住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせるように関係部署や関係団体等と連携し、身近な施設である地区公民館(介護予防拠点施設)を会場として、気軽に参加できる運動教室等の開催や参加の促進を図ります。



基本施策2 スポーツによる共生社会の実現

「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で、「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」町民の誰もが参加できる生涯スポーツ社会の実現に向けた環境整備を推進し、スポーツ参画人口が広がる町として、スポーツを通じて、地域社会との絆を深めるとともに共生社会の実現をめざします。

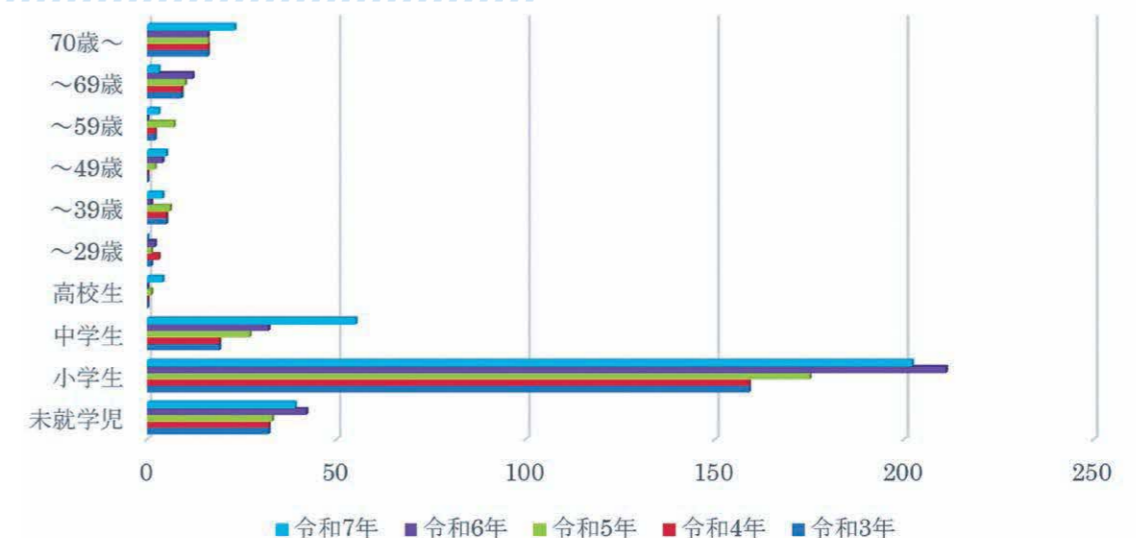
1 NPO法人長洲にここクラブの育成・支援

施策の現状と課題

平成20年6月、総合型地域スポーツクラブとして「長洲にここクラブ」が設立され、平成27年2月NPO法人取得、平成28年度から総合スポーツセンターの指定管理者(共同体)として、町内になくってはならない組織となっています。教室は16のプログラム(バスケットボール、剣道、サッカーなど)を実施しており、また、イベントも多く取り入れ町民に愛される組織をめざし、スポーツを核に町民の「ひとづくり」「まちづくり」「いきがづくり」の推進に力を入れています。

令和3年度から令和7年度にかけて、会員数は増加傾向にあります。が、会員の少ない高校生から50歳代へのアプローチが必要です。また、財源や指導者、スタッフの確保などクラブの自主運営に向けた課題も多く、行政のパートナーとしての存在が強固なものになるために、今後も継続した支援が必要です。

長洲にここクラブ年齢構成別の会員数の推移



具体的な施策内容

◆クラブの周知・加入促進

- 町民スポーツアンケート調査結果では、75.4%と高い認知度になっていますが、クラブの認知度をもっと高めていく必要があります。このため、各種行事の開催時など、様々な機会を活用しながら、SNS等も駆使し、周知と加入促進を図ります。

◆自立的なクラブ運営の促進

- 「持続可能な総合型地域スポーツクラブの推進に向けた取組の指針と評価指標」等を活用し、PDCAサイクル^{※3}による運営改善を図ることで、自立かつ安定したクラブ運営が実現できるよう支援します。

◆町におけるスポーツを通じた活性化

- 子どもから高齢者まで幅広い人々が、多彩なスポーツ活動を楽しむことができるように、多種・多様なスポーツプログラムの開催を支援します。スポーツを核としたコミュニティづくりをめざした公益性のある団体として町民の誰もが認めるクラブとなるよう支援します。
- クラブの質的充実等を促進するために会員数の増加に努めなければなりません。そのために中学校部活動の地域展開による若年層の会員増加をさらに行政と連携して必要な取組を進めていきます。

※3 PDCAサイクル・・・Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)の4つのステップを繰り返し、業務や目標を継続的に改善していくための管理手法のこと。

◆長洲町スポーツ推進委員

スポーツ基本法第32条において、スポーツ推進委員は、地域のスポーツ推進体制の重要な部分を担うものとして位置づけられており、本町では15人を委嘱しています。

活動内容としては、実技指導や町教育委員会が実施するスポーツ事業の企画・立案・運営等の業務を行っています。今後も、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整(コーディネーター)、スポーツ等の実技指導(インストラクター)、スポーツに関する指導助言(アドバイザー)の活躍が求められます。

玉名管内各地区のスポーツ推進委員数(令和7年度)

荒尾市：39人	長洲町：15人	南関町：8人
和水町：17人	玉東町：5人	玉名市：61人

◆長洲町スポーツ協会

長洲町スポーツ協会は、競技スポーツとレクリエーションスポーツを推進し、町民の健全な心身の育成と明るく豊かな町民生活の形成に寄与し、関係団体の発展と相互の親睦、連携を図ることを目的とした組織です。

現在14の競技団体が所属していますが、会員数の減少といった課題が見られます。今後は、さらなる効率的な運営体制の構築と、町民サービスの向上を図るため、関係団体との統合を進めることにより、組織間の連携強化、事業の一体的推進、資源の有効活用が可能となり、より幅広い世代がスポーツに親しめる環境づくりをめざします。町全体のスポーツ推進を総合的に支える中核組織として、地域コミュニティの活性化にも寄与していきます。

長洲町スポーツ協会の加盟団体と構成人数(令和7年度)

1 女子バレーボール : 22人	8 ソフトボール : 9人
2 卓球 : 13人	9 弓道 : 13人
3 剣道 : 17人	10 軟式野球 : 23人
4 バドミントン : 23人	11 ビーチボールバレー : 11人
5 サッカー : 12人	12 グラウンドゴルフ : 41人
6 ソフトテニス : 20人	13 男子バレー : 14人
7 テニス : 36人	14 水泳 : 13人

2 スポーツを支える人材の育成

施策の現状と課題

スポーツが文化として人々の生活に根付くためには、スポーツ参画人口の拡大が求められています。スポーツ参画人口には、「する」「みる」「ささえる」が挙げられますが、とりわけ「ささえる」については停滞しているのが現状です。

町スポーツ協会や町スポーツ推進委員等の関係団体と連携を図り、広く町民に対してスポーツボランティアの参加を呼びかけ、スポーツ時の指導、各種スポーツイベントの運営スタッフ等、各種スポーツ活動に応じた人材を育成するとともに、適時適切に関わることができる体制づくりも必要となります。

具体的な施策内容

◆スポーツ推進委員の資質の向上

- 時代の変化に対応できるためにも、スポーツ推進委員一人ひとりの意識改革と研修のあり方を見直し、これからスポーツ推進委員が住民の期待に応え得るためにも、住民や関係団体との連携・協働を図り、個人としても組織としても自主性の向上につながる実践を進めます。
- スポーツ推進委員自身の資質向上はもとより、スポーツ推進委員に課せられた任務を正しく理解し、その任務を遂行する人材を委嘱するとともに、地域住民の認知度も高めていきます。

◆地域スポーツ指導者の育成

- 地域スポーツの推進に携わる関係者の資質の向上を図るとともに、地域におけるスポーツ環境の整備・充実のため、指導者としての人材を確保し、地域スポーツ指導者を増やしていきます。

◆スポーツボランティアの育成

- スポーツイベント開催に伴うスポーツボランティアへの呼びかけや研修会の情報提供を行い、スポーツを「ささえる」活動への機運が高まるよう進めていきます。
- 町のホームページや広報紙を活用して、スポーツボランティアの活動内容や募集情報を紹介しながら、ボランティア未経験者への動機づけや意識啓発を図り、ボランティア活動への参加者を開拓・拡大します。

◆高等教育機関との連携

- スポーツの分野で高等教育機関と連携することは、競技力の向上だけでなく、地域の活性化や人材育成にもつながります。高等教育機関が持つ専門的な知識や最先端のトレーニング理論を活用することで、より効果的な指導や環境づくりが可能になります。また、学生アスリートが地域のスポーツイベントや教室に参加することで、子どもたちの憧れとなり、スポーツへの関心を高めるきっかけにもなります。指導者の派遣や研修の実施、プログラム開発支援などを通じて、高等教育機関との連携を図っていきます。

3 「する」スポーツの支援の充実

施策の現状と課題

本町における競技スポーツは、町スポーツ協会を中心として、その加盟団体が各種競技大会への参加や大会を開催する等、連携を図りながら進めてきました。

しかし、競技人口の減少とともに、加盟団体における会員の高齢化や減少などが進み、活動の活性化が課題となってきています。

また、ジュニア期から一貫した指導体制の整備を図るとともに、指導者の養成・確保といった取組も必要となっています。

具体的な施策内容

◆競技者・指導者の育成環境づくり

- 町スポーツ協会やNPO法人長洲にここクラブ及び各種スポーツ団体等との連携を図りながら、優秀な指導者によるスポーツ教室・実技講習会を開催し、競技者人口の拡大に努め、優れた素質のある競技者を発掘・育成します。
- 中学校でも小学生の時期に取り組んでいる競技が継続できるよう町スポーツ協会やNPO法人長洲にここクラブ及び各種スポーツ団体等において、一貫指導を受けられる環境の整備に努めます。
- 多くのスポーツ環境を整えることで、そこに関わる多くの指導者を確保しながら育成と資質の向上を図ることを意識したスポーツ活動を推進します。

◆長洲町文化・スポーツ振興基金（仮称）の設立

- 各種競技大会において優秀な成績を収め、全国大会に出場する選手および団体に対する支援を充実させるため、「長洲町文化・スポーツ振興基金（仮称）」を設立します。本基金により、文化・スポーツ活動の更なる振興を図り、地域の活力向上と将来を担う人材の育成につなげます。

◆全国大会等の各種競技大会参加への支援

- 県内外で開催される各種競技大会において優秀な成績を収め、全国大会に出場する選手および団体に対する奨励金の交付を通じて、支援の拡充を図ります。

◆優秀なスポーツ選手等の表彰

- 全国大会等で優秀な成績をおさめた個人、団体や地域のスポーツ推進に貢献した個人や団体等を表彰することにより、より一層のスポーツの推進を図ります。町広報紙や町ホームページ等を活用することで、町民への広報と興味・関心を高めるためのものにしていきます。

4 スポーツを通じた健康増進

施策の現状と課題

国民医療費が年間4.8兆円を超え、高齢化等により更なる拡大が予想される中、スポーツによる医療費抑制に係る研究結果は多く報告されており、スポーツによる健康増進に対する期待は高まっています。

しかし本町では、スポーツによる健康増進の効果を高めるための各種事業において、好事例の成果活用や効果的な情報発信・展開が十分とはいえない状況にあります。

具体的な施策内容

今回実施したアンケート結果において、運動をする目的として最も多かったのが「健康的な体をつくる」で、続いて「運動不足を解消する」といった回答となっています。

このようなことから、ニーズに応えられるようなプログラム、環境の充実、情報の発信を図ります。

◆くまもとスマートライフプロジェクトの推進

- 健康で元気に楽しい毎日を送ることができることを目標とした「くまもとスマートライフプロジェクト」を推進し、日々の暮らしの中で気軽に体を動かす町民が増えるよう、「くまもとスマートライフアプリ(くまもん歩数計アプリ)」等を活用した健康づくりの普及・啓発を進めます。

◆地域資源を活かす等、多様な視点からのアプローチ

- 長洲町のシンボル施設「金魚と鯉の郷広場」等の公共施設において、人々の趣味や特技等を好みに合わせて、いろいろな視点で楽しめるスポーツ活動を計画していきます。

◆表現活動の推進

- ダンスや吹奏楽などの表現活動の支援に力を入れていきます。子どもから大人まで、音楽や身体表現を通じて自己を表現し、仲間とつながる場をつくることで、創造力や協調性を育みます。発表の機会や練習環境の整備を進め、地域全体で表現活動を応援する風土を育てます。スポーツや自然体験とあわせて、多様な活動が調和する地域づくりをめざします。

5 パラスポーツの推進

施策の現状と課題

障がいのある人がスポーツに取り組むことは、心身の健康の保持増進や社会参加の機会を広げ、生活の質の向上につながります。本町においても、パラスポーツの推進は地域社会の活性化に資するものであり、積極的に取り組む必要があります。

しかし、実施したアンケート調査では、施設面の整備が不十分であるとの回答が多く寄せられており、パラスポーツに取り組める環境の整備が課題となっています。

具体的な施策内容

◆ユニバーサルデザイン^{※4}の推進

- 町スポーツ施設について、障がいのある人もない人にも優しく誰もが利用しやすい施設になるように、ユニバーサルデザインの推進に取り組みます。

◆障がいのある人のスポーツ活動の支援

- 障がいのある人を対象とした県・郡主催のスポーツ大会等への参加を支援します。また、町主催のスポーツ行事へ参加しやすい機会の拡充に努めます。
- 子どもから高齢者まで、誰もが気軽に取り組めるユニバーサルスポーツ^{※5}の普及に努め、参加者の交流機会の拡充を図ります。

◆パラスポーツ教室の開催

- 長洲町身体障害者福祉協議会をはじめ、NPO法人長洲にここクラブや町総合スポーツセンター指定管理者、その他の団体等と県パラスポーツ指導者協議会など関係団体の協力を得ながら障がいのある人が参加できるスポーツ教室の開催に取り組ます。

◆障がいのある人の関係機関との連携

- 障がいのある人のスポーツ活動を促進するため、長洲町社会福祉協議会、長洲町身体障害者福祉協議会やNPO法人長洲にここクラブ、社会福祉法人等の各種団体との連携を図ります。

※4 ユニバーサルデザイン…年齢・性別・国籍・障害の有無などに関係なく、すべての人が公平に使いやすいように設計された「すべての人のためのデザイン」のこと。

※5 ユニバーサルスポーツ…年齢・性別・国籍・障がいの有無、運動の得意・不得意に関わらず、誰もが一緒に楽しめるように工夫されたスポーツのこと。



基本施策3 スポーツ環境の充実と推進

誰もが安全かつ快適にスポーツに取り組めるよう、長洲町総合スポーツセンター等の拠点施設について、適切な管理運営を推進します。

また、地区公民館(介護予防拠点施設)やウォーキングコースなど、身近で気軽に利用できる場を活用し、町民が楽しみながらスポーツに親しめる環境を整備します。

さらに、町民がスポーツに関する情報を容易に入手できるよう、町内で実施される活動の情報を収集する体制を整えるとともに、「広報ながす」や町ホームページ、SNSといった多様な媒体を通じて効果的な情報発信に努めます。

加えて、近年活用の進むICT技術をスポーツ分野にも導入し、スポーツ・レクリエーション活動の拡充を図ります。

これらの取組を通じて、町民の健康増進と交流促進に資する、より良いスポーツ環境の実現をめざします。

1 身近なスポーツ活動の場の提供

施策の現状と課題

スポーツ施設や学校体育施設は、町民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの場として広く活用されています。

今後も、利用者の皆様からのご意見を反映し、より快適に利用できる環境の整備に努めます。

また、地区公民館(介護予防拠点施設)では、高齢者向けの健康運動などを通じて健康増進を図る取組が進む一方、依然としてスポーツに触れる機会の少ない町民も少なくありません。

こうした方々へも効果的に働きかけ、誰もがスポーツに親しめる環境の拡充をめざします。

具体的な施策内容

◆学校体育施設の有効利用

- 学校の体育施設は、町民の皆様が日常的に利用できる身近なスポーツ施設です。そのため、引き続き小中学校と連携し、施設の平日夜間や土日の開放を推進します。また、利用者の皆様の利便性向上を図るとともに、多様なスポーツに親しめる環境を整備するため備品の整備・充実にも努めます。

◆地区公民館(介護予防拠点施設)でのスポーツ・レクリエーションプログラムの推進

- 関係部署と連携し、身近な地区公民館(介護予防拠点施設)において、ストレッチや健康体操など気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションプログラムを推進します。

◆スポーツに触れることのない人たちへの積極的なアプローチ

- スポーツ・レクリエーション活動は、老若男女を問わず誰もが気軽に参加しやすい活動です。そのため、現在スポーツをしていない方やこれから始めたい方を対象に、スポーツ推進委員と連携して活動の紹介・普及に努めます。
- 性別や年齢を問わず誰もが参加でき、世代間の交流も促す取組として、レクリエーション活動や健康づくりをテーマとしたスポーツイベントの開催を推進します。
- 町民の主体的なスポーツ活動を促進するため、町民のニーズに応じ、スポーツ大会や施設、地域の活動、健康づくりに関する情報など、幅広い情報の提供を図ります。

2 スポーツ施設の整備・拡充

施策の現状と課題

本町のスポーツ施設は多くの施設で老朽化が進行しています。特に、建設から40年以上が経過した施設や設備については、適正な維持管理に努めるとともに、「町公共施設個別施設計画」に基づき、計画的な改修に取り組む必要があります。

また、管理運営面では指定管理者制度を導入し、サービスの向上と効率的で利用しやすい施設管理に努めています。

具体的な施策内容

◆スポーツ施設の整備

- 地域住民が気軽に集い、交流できる場として再生させていきます。子どもから高齢者まで、だれもがアクセスしやすく、使いやすい施設を目指し、地域のにぎわいや人と人とのつながりを生み出す拠点として活用していきます。さらに、国の交付金や補助金等を積極的に活用して、地域の誰もが安心して利用できる“身近なコミュニティの中心”として、これからのまちづくりに貢献する施設へと生まれ変わらせていきます。

◆指定管理者制度の活用

- 総合スポーツセンターでは、利用者サービスの向上と効率的な運営をめざし指定管理者制度を導入しました。本制度のもと、民間のノウハウを活用して「各種スポーツ教室の開催」「きめ細やかなサービスの提供」「利便性と満足度の向上」といった取組を進めています。今後も指定管理者と緊密に連携し、利用者数の拡大と適切な管理運営に努めます。

3 B & G財団及び各種スポーツ団体との連携

施策の現状と課題

社会状況の変化や多様化する町民のスポーツニーズに対応するためには、行政組織間の連携と、健康づくりや競技力向上を担うスポーツ関係団体の充実が不可欠です。

しかし、本町においても少子高齢化を背景に、学校運動部活動の維持が困難になりつつあるほか、各種団体では指導者・後継者不足や会員の減少といった多くの課題に直面しています。

こうした状況下では、各団体が単独で活動をするだけでは組織の維持・発展は困難です。今後は、複数の関係団体が連携・協働し、互いの活動を活性化させていく体制の構築が求められます。

具体的な施策内容

◆横断的なスポーツ推進体制の整備

- 町民の健康・体力づくりやスポーツ推進における行政組織間の連携・協働を強化するため、定期的な情報交換や合同研修会などを通じて、各組織の役割分担を明確にした組織横断的な推進体制を整備します。
- 町全体でスポーツ推進体制を構築するため、町、スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ団体、さらに観光協会や商工団体などの民間団体が一体となった「長洲町版地域スポーツコミッション※6」を設立します。これらの組織が連携して活動することで、単なるスポーツイベントの運営にとどまらず、スポーツと各種地域資源を掛け合わせ、地域全体の活性化をめざします。

※6 スポーツコミッション・・・スポーツを通じて地域を活性化するために官民が連携して設立される組織です。地方公共団体、スポーツ団体、観光団体、商工団体、大学、企業などが一体となり、スポーツイベントや合宿の誘致、地域住民の健康増進、観光振興などを推進します。

◆関係団体との連携・協働

- B & G財団との連携
海洋性レクリエーションを通じて青少年の健全育成と地域住民の健康づくりを図る「B & Gプラン」※7に基づき、時代の変化や社会のニーズに応じた事業を展開します。

※7 「B & Gプラン」・・・未来を担う青少年の健全育成と明るく健康な地域社会の実現を目指して、以下の4つの事業を中心にプランを推進しています。
①青少年の健全育成に関する事業、②幼児から高齢者までの心身の健康づくりに関する事業、
③指導者の養成に関する事業、④ネットワーク活用事業

- 長洲町スポーツ協会との連携
スポーツ協会は、スポーツを通じた町民の体力向上と、健康で明るい町づくりへの寄与を目的とする団体です。
また、協会は「各種競技会や講習会の開催」「加盟団体の育成強化」「役員・選手の派遣」など、多岐にわたる事業を展開しています。
そのため、これらの事業を効率的に推進し、その成果を的確に把握できるよう、協会の組織体制の整備・充実を支援します。
- 長洲町スポーツ推進委員協議会の充実
本町のスポーツ推進委員会は、スポーツ基本法に基づき、教育長が委嘱する15人の委員で構成されています。
同協議会は、地域スポーツ推進の中核として、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整やスポーツの実技指導、スポーツに関する指導助言といった重要な役割を担っています。
そのため、研修会の開催などを通じて委員の資質向上と活動の活性化を図り、その役割を十分に発揮できるよう支援します。
- 学校体育団体との連携
小・中学校体育連盟の町内各小中学校における体育・スポーツの推進を通じて、児童生徒の心身の健全な育成と競技力向上に取り組んでいます。
今後も児童生徒のスポーツ環境を整備・充実させるとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ人材の育成や競技者の支援といった観点から、スポーツ協会、スポーツ推進委員、NPO法人長洲にここクラブ(総合型地域スポーツクラブ)などの関係団体との連携を強化します。これにより、地域の指導者を活用するなど、各団体が相互に機能を高め合う協力体制の構築を図ります。
- 長洲町身体障害者福祉協議会との連携
障がいのある方のスポーツ・レクリエーション活動を普及させるため、関係団体と連携して積極的に情報を共有し、参加機会の拡充に努めます。

施策の現状と課題

スポーツを推進するためには、その魅力や意義、地域のスポーツ環境（ハード・ソフト両面）といった情報を、町民に正しく伝えることが不可欠です。

今後は、町民一人ひとりがスポーツの主体であることを踏まえ、「する」「みる」「ささえる」「つながる」「誰もがアクセスできる」といった多様な関わり方に対応した情報を発信することが重要です。これにより、町民の興味・関心を喚起し、自発的なスポーツ活動への参加につながります。

具体的な施策内容

◆ 広報活動の推進

- 基本理念である「“スポーツの力”で活力ある・明るいまちづくり」の実現と、生涯スポーツ社会の構築に向け、スポーツに携わる全ての町民に本計画の目標や内容が深く浸透するよう、様々な機会を活用して継続的な周知に努めます。

◆ 積極的なスポーツ情報の発信・提供

- 町広報紙「広報ながす」や町ホームページなどを通じて、スポーツに関する情報発信を強化します。
町内で活動するスポーツ団体やサークルの紹介、各種運動教室の案内、気軽に運動できる環境の情報などを積極的に提供し、内容の充実に努めます。

◆ 住民ニーズの把握

- 住民のスポーツ活動への参加を促進するため、施設利用者へのアンケート調査や、スポーツ協会・スポーツ推進委員といった関係団体との意見交換を通じて、ニーズの把握に努めます。

1 実現に向けた各主体の役割

本計画に掲げたスポーツ推進の目標、基本方針を実現するためには国、県の動向を注視し、行政のみならず、町民・スポーツ協会・スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・社会福祉協議会・各スポーツ団体等が主体となり、共同し、一体となって積極的に取り組むことが重要となります。

今後は、これら関係機関や団体との役割分担や連携・協働のもと、長洲町のスポーツの推進に向けて計画を進めていきます。



関係団体や行政等の役割を明確にしたうえで連携し、
計画的な事業の推進を図ります。

関係団体等

長洲町スポーツ協会

- ・競技スポーツの推進や指導者育成等スポーツの裾野を拡大

長洲町身体障害者福祉協議会等

- ・スポーツを通じた障がいのある人の自立と社会参加

長洲町スポーツ推進委員協議会

- ・スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整(コーディネーター)
- ・スポーツ等の実技指導(インストラクター)
- ・スポーツに関する指導助言(アドバイザー)

NPO法人長洲にここクラブ (総合型地域スポーツクラブ)

- ・スポーツ活動や文化活動を通して地域住民の「健康・笑顔・元気あふれるまちづくり」という公益活動の推進

長洲町子ども会連合会

- ・子どもたちのいろいろなスポーツ活動への参加促進

長洲町老人クラブ連合会

- ・スポーツを通じた高齢者の健康・生きがいづくり

行政関係

生涯学習課

- ・スポーツに関わる活動支援や行政との協働の橋渡し
- ・スポーツをする場や機会の提供

学校教育課

- ・学校での体育・保健体育の授業や体育的行事の充実

福祉保健介護課

- ・スポーツ活動への高齢者や障がいのある人の参加促進
- ・地区公民館(介護予防拠点施設)での気軽に参加できる運動教室の開催及び参加促進

子育て支援課

- ・子どもの発達段階に応じて、楽しみながら、継続的にスポーツに親しむことができる「きっかけづくり」となる場の提供

長洲町社会福祉協議会

- ・介護予防に向けた公民館活動への支援を提供

指定管理者

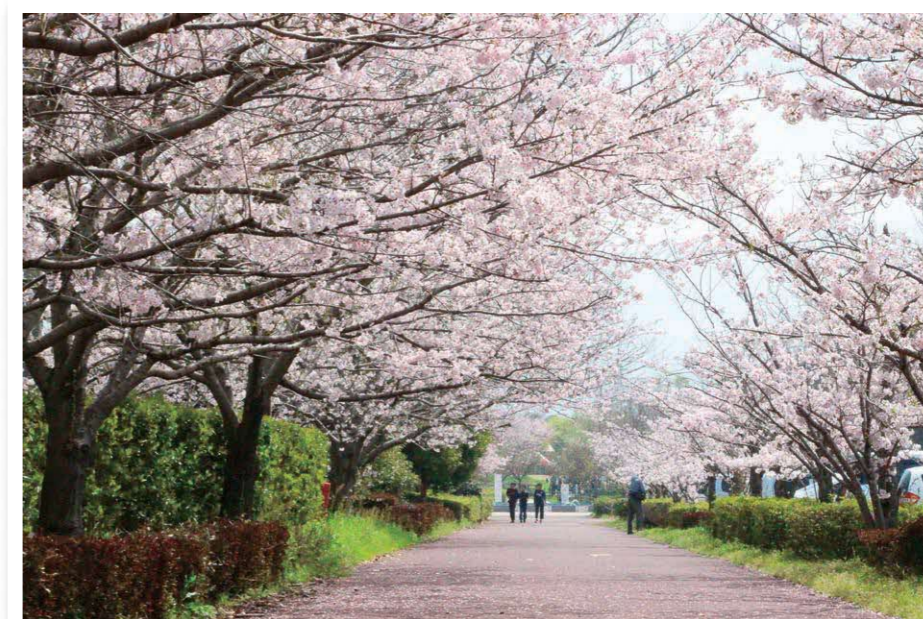
- ・施設の維持管理、有効利用やスポーツをする場及び機会の提供

関係課及び関係機関と連携し、それぞれが主体的に
スポーツに取り組めるよう環境整備等の支援を行う等、
きめ細やかな施策の推進を行います。

2 計画の進捗状況の検証と計画の見直し

本計画は、横断的かつ総合的な取り組みとして推進します。

計画の進捗管理にあたっては、関係団体や各課と密に連携し、具体的な方策の成果と課題を共有します。その結果を次年度以降の取組に反映させることで、継続的な改善を図ります。



長洲町スポーツ推進計画策定に関する審議会委員名簿

役職	所属団体	氏名
委員長	九州看護福祉大学	平崎 和雄
副委員長	長洲町青少年育成町民会議	吉田 一明
委員	長洲町スポーツ協会	林 邦博
委員	長洲町スポーツ推進委員協議会	恒松 大地
委員	長洲中学校校長	田中 良幸
委員	長洲町PTA連合会	西山 利史
委員	NPO 法人長洲にここクラブ	橋垣 真美
委員	長洲町身体障害者福祉協議会	濱口 直幸
委員	株式会社 LIXIL	田上 敬二郎
委員	NPO 法人 A-life なんかん	西田 由実

長洲町のスポーツ活動状況に関するアンケート調査

集計結果



長洲町教育委員会
生涯学習課

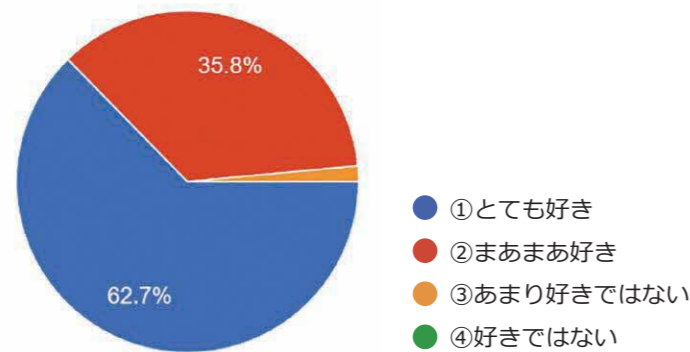
スポーツに関する親子アンケート

調査期間：2025年12月5日～11日
 調査対象：長洲町内3園に登園する年長児
 調査方法：調査票による調査
 回答数：67件(回収率70%)

● スポーツへの好意

- 「とても好き+まあまあ好き」 = 98.5%と、ほぼ全員が肯定。

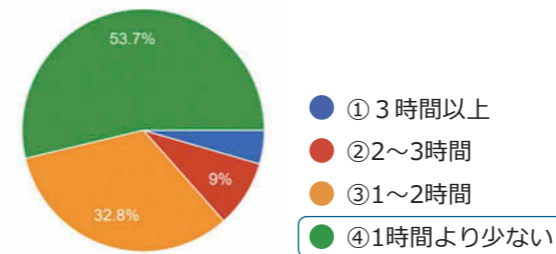
1 運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか？ 67件の回答



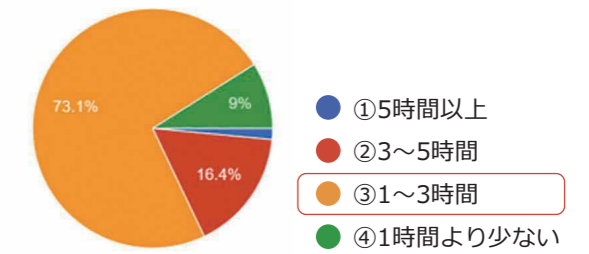
● スポーツ実施頻度

休日は十分に遊べているが、平日園外の活動時間は短め。

2 平日（月～金）で、園以外で1日どれくらいの時間を動かす遊びをしていますか？ 67件の回答



3 休日（土・日・祝）で、1日どれくらいの時間を動かす遊びをしていますか？ 67件の回答

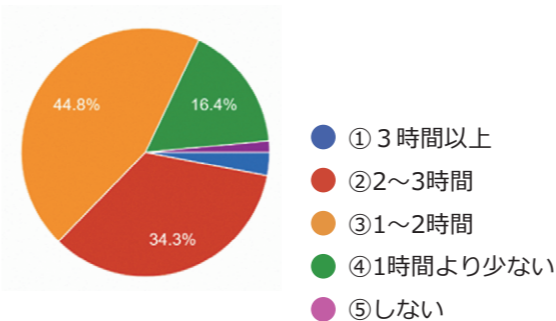


● スクリーンタイム（マルチメディア機器への接触時間）

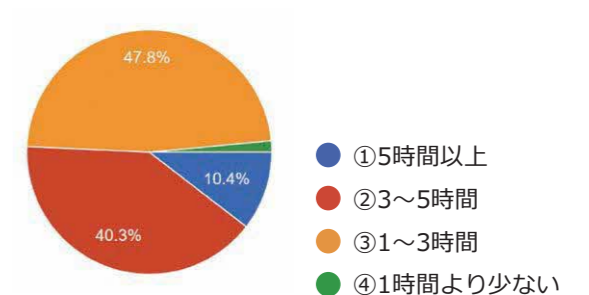
スクリーンタイムは休日に長く、平日に長めの子は、休日も長くなる傾向。
 休日の視聴時間が長いほど、睡眠時間は短くなる傾向。

※順位相関係数により有意差を算出

4 普段の平日、1日にどれくらいの時間、テレビ・ビデオ・DVD・ゲーム・スマートフォンを見たり聞いたりしますか？ 67件の回答



5 休日（土・日・祝日）、1日にどれくらいの時間、テレビ・ビデオ・DVD・ゲーム・スマートフォンを見たり聞いたりしますか？ 67件の回答

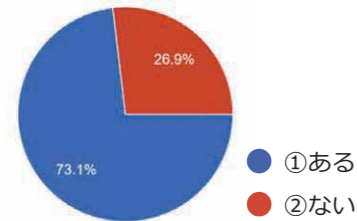


● 食事

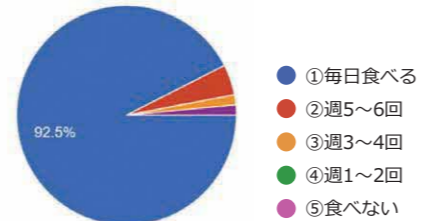
食事習慣については、総じて良好。
食べ残しが少ないほど、他の項目に好影響を与える傾向が若干見られる。

※順位相関係数により有意差を算出

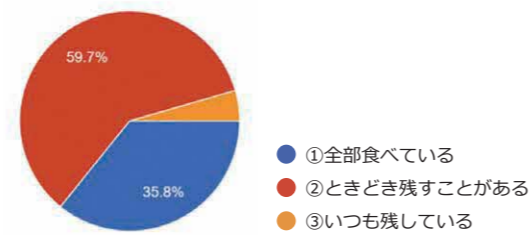
6 好き嫌いはありますか？ 67件の回答



7 朝食（主食）は毎日食べますか？ 67件の回答



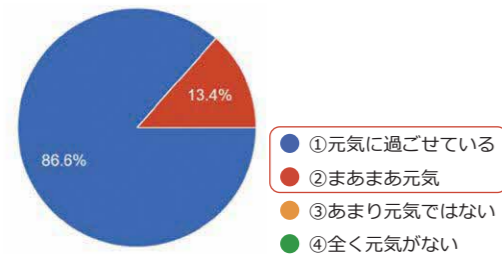
8 ご飯は残さずに食べていますか？ 67件の回答



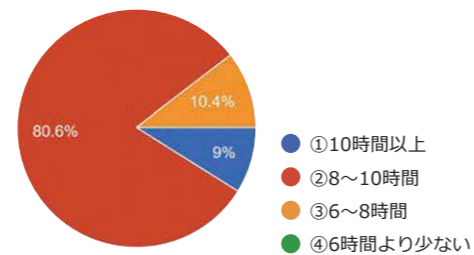
● 日頃の生活状況

元気に過ごせているとの回答が100%で、
その内の約9割が体力があると回答。→未回答者へのアプローチを検討したい

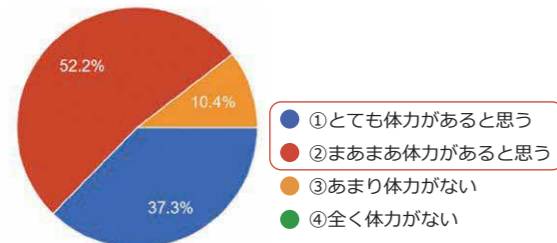
10 毎日、元気にすごせていますか？ 67件の回答



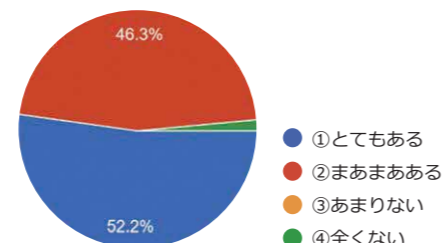
9 毎日どのくらい寝ていますか？ 67件の回答



11 体力があると思いますか？ 67件の回答



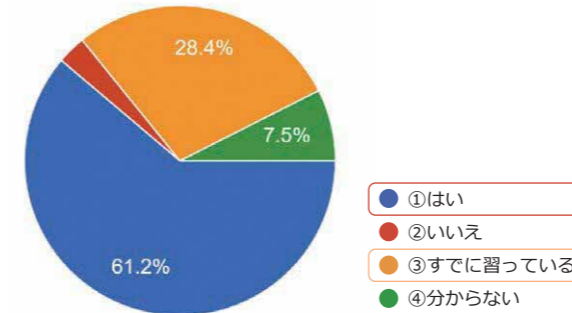
12 子供の体力について関心がありますか？ 67件の回答



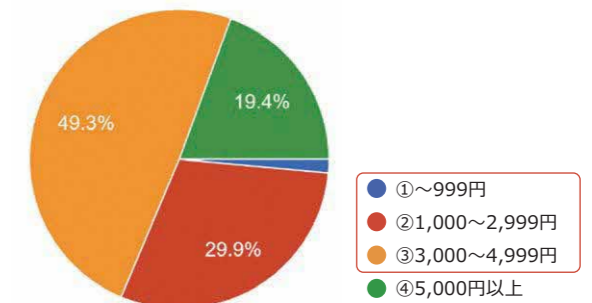
● スポーツの習い事

「習わせたい+すでに習っている」が89.6%と高い受容性。
習い事にかかる費用は、5,000円以下が許容の範囲。

14 運動やスポーツを習わせたいと思いますか？ 67件の回答



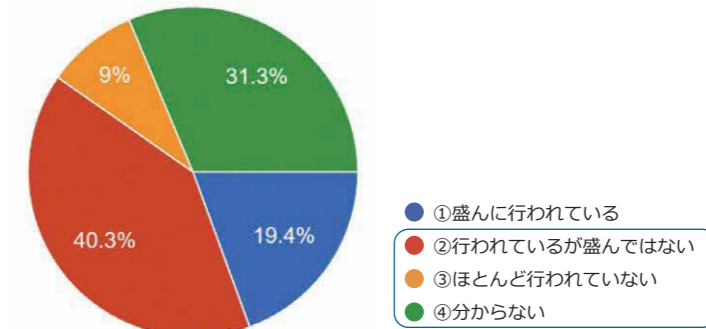
15 スポーツの習い事（道具等含む）に係る費用は、1人につき月どのくらいが妥当だと思いますか？ 67件の回答



● 子育て環境

幼児保護者への見守り活動の認知不足が目立ち、印象も不満傾向にある。

16 地域での子供の見守り活動が行われていると思いますか？ 67件の回答



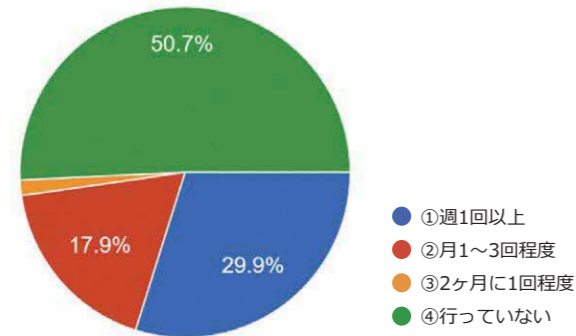
● 幼児保護者自身のスポーツ実施状況

保護者の運動頻度が高いほど、子供の運動時間が長い。

保護者が運動実施の家庭では、スポーツの習い事に対する意向が高い傾向。

※順位相関係数により有意差を算出

13 現在、運動（軽く体を動かす等）やスポーツを行っていますか？（1回30分以上） 67件の回答



幼児調査（要約）

- ・ 幼児はスポーツ好意度が極めて高く、休日は十分に遊んでいるが、平日園外でのスポーツ活動時間は短め。
- ・ スクリーンタイム（マルチメディア機器への接触時間）は休日に増加傾向。
- ・ 食・睡眠は総じて良好。
- ・ 保護者側の運動習慣は半数が未実施。
- ・ スポーツの習い事への受容性は高く、費用目安は月3-5千円が最多。
- ・ 地域の見守りは「十分でない／分からない」が目立つ。

【参考】小中学生調査との比較

● スポーツ好意度の比較

- ・ 小・中学生：ともに「好き」層が多数(中学生は「見るのも、するのも好き」が最多で、小学生は「するのが好き」が最多)。
- ・ 幼児も「好き」層がほぼ全員で整合。

● 活動頻度／時間の比較

- ・ 中学生：「毎日」が突出(部活動の影響)。
- ・ 小学生：週3日以上／週1-2日の活動が中心。
- ・ 幼児：平日は1時間が過半、休日は1-3時間が中心。
→ 年齢と制度(部活)の影響が明確。

● 施設・課題の比較

- ・ 小学生コメント：「スポーツする場所が欲しい」「種目別の場(バドミントン、野球等)」のニーズが多数。
- ・ 中学生コメント：「体育館エアコン」の整備、「場所・機会の創出」の要望が顕著。
- ・ 幼児保護者：見守り活動の認知不足が目立ち、短時間(30-60分)、身近な場所で参加できる親子プログラムの需要が高い(習い事受容性・費用許容からの裏付け)。

スポーツ活動アンケート調査結果 (小学生・中学生分)

調査期間：2025年10月1日～10月24日

調査対象：長洲町内小学5年生、6年生、中学1年生、2年生

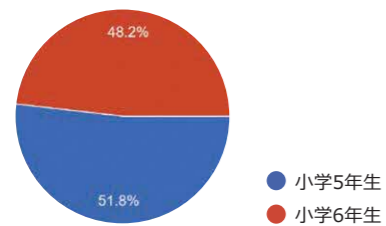
調査方法：紙の調査票、オンラインによる調査の併用

回答数：420件（小学生225件、中学生195件）

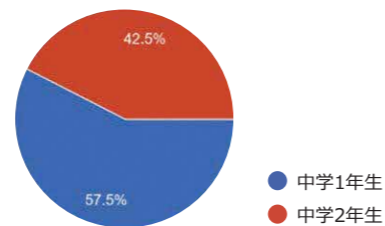
小学生・中学生調査概要（属性）

長洲町内の、小学5年生、6年生 225名、中学1年生、2年生 195名、
合計420名から回答を取得。

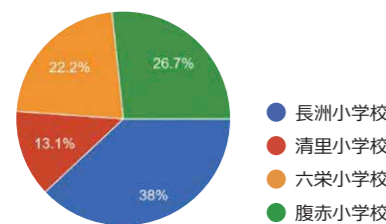
問1 あなたは何年生ですか。 222件の回答



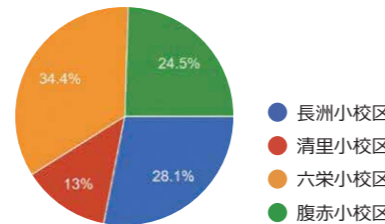
問1 あなたは何年生ですか。 193件の回答



問2 あなたの小学校を教えてください。 221件の回答



問2 あなたのお住まいの校区を教えてください。 192件の回答

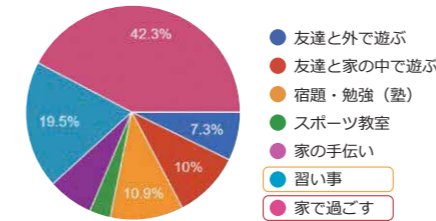


● 休日の過ごし方

小学生の半数以上は家で過ごし、約2割がスポーツ以外の習い事に通う。
中学生は、1人で家で遊ぶことが多く、放課後は部活、休日は勉強に充てる。

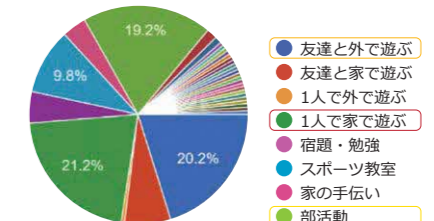
—— 小学5、6年生 ——

問4 休日は主に何をしていますか？
一番多いものをえらんで下さい。 220件の回答

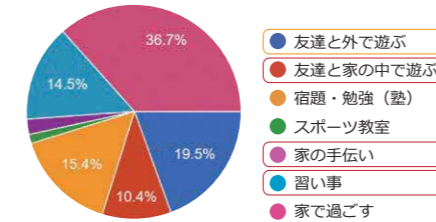


—— 中学1、2年生 ——

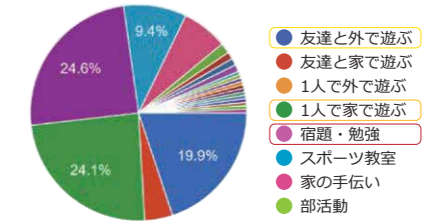
問4 学校が休みの日は主に何をしていますか？
一番多いものをえらんで下さい。 193件の回答



問3 学校から帰って何をしていますか？
一番多いものをえらんで下さい。 221件の回答



問3 あなたは学校から帰って主に何をしていますか？
一番多いものをえらんで下さい。 191件の回答

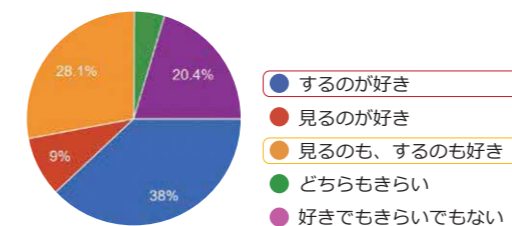


● スポーツへの好意

小学生、中学生ともに、スポーツへの好意度は非常に高く、
中学生は、見ることも好きな層が拡大。

—— 小学5、6年生 ——

問5 運動やスポーツは好きですか？ 221件の回答



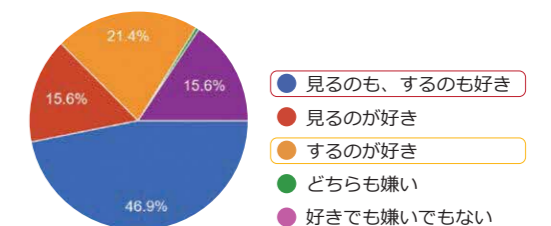
好き：75.1%

するのが好き：66.1% (38%+28.1%)

見るのが好き：37.1% (9%+28.1%)

—— 中学1、2年生 ——

問5 スポーツは好きですか？ 192件の回答



好き：83.9%

するのが好き：68.3% (21.4%+46.9%)

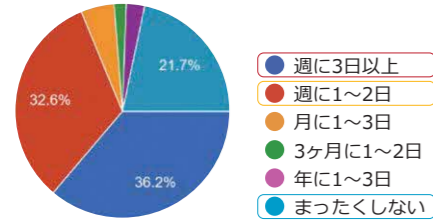
見るのが好き：62.5% (46.9%+15.6%)

● 授業外でのスポーツ実施頻度

小学生は毎週定常的にスポーツの習い事をおこなっており、
中学生は、部活、スポーツクラブ等で毎日のスポーツ実施層が半数を超える。

—— 小学5、6年生 ——

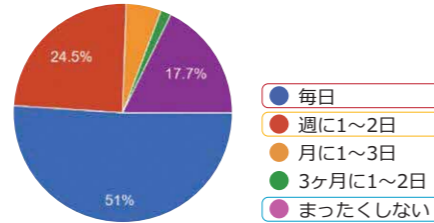
問6 学校の体育の授業以外で運動やスポーツをどのくらいやっていますか？（部活動・子ども会・スポーツ教室など大人から教えてもらっているもの） 221件の回答



※設問では、習っているスポーツに限定

—— 中学1、2年生 ——

問9 学校の授業以外でスポーツをどのくらい行っていますか？ 192件の回答



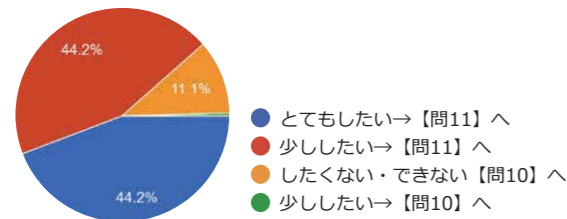
※70.5%が、運動部かスポーツクラブに所属しているため、毎日の運動実施が多いと推測

● 授業外でのスポーツ参加意向

小学生・中学生ともに、今後のスポーツ活動への参加意向は非常に高い。
不参加理由は「体力不安・苦手意識」+「機会・競技不足」が主因。

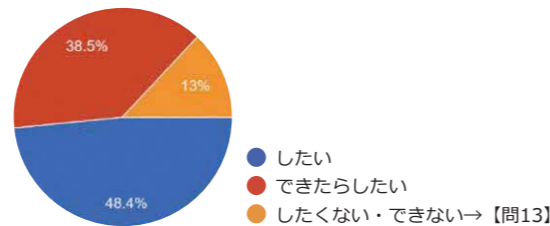
—— 小学5、6年生 ——

問9 学校以外で運動やスポーツをしたいと思いませんか？ 217件の回答

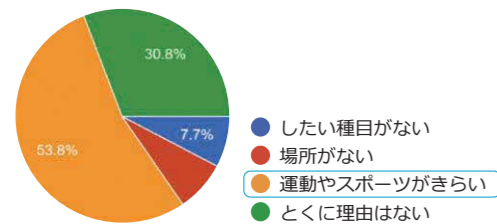


—— 中学1、2年生 ——

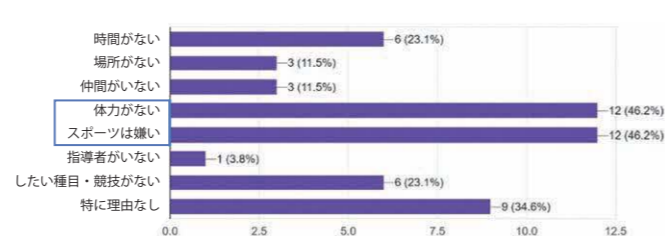
問12 今後、スポーツをしたいと思いませんか？ 192件の回答



問10 問9で、「したくない、できない」を選んだ人はなぜですか？ 26件の回答



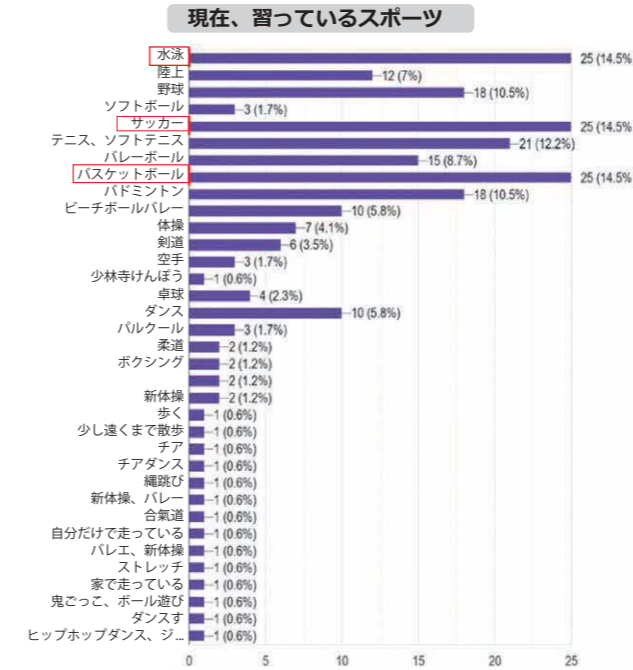
問13 問12で、「したくない、できない」を選んだ人はその理由を選んでください。（複数可） 26件の回答



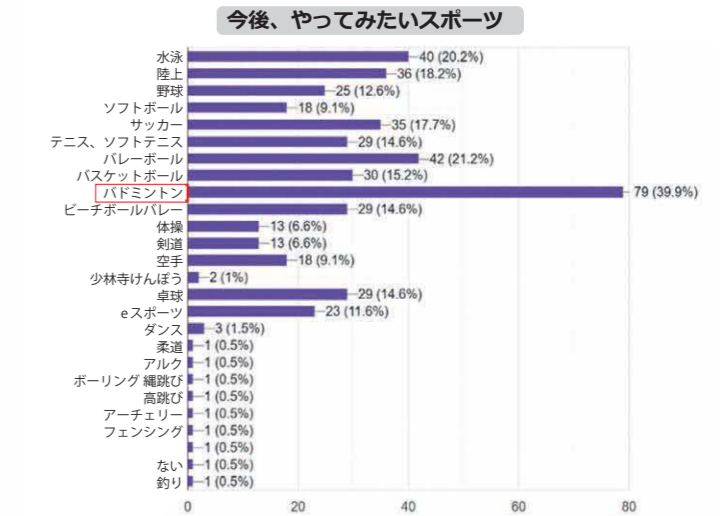
● 【小学生】 授業外スポーツの状況

水泳、サッカー、バスケの実施が多く、今後はバドミントンへの意向が強い。

問7 問6で1~5にチェックをつけた人は、その種目をすべて答えて下さい。 172件の回答



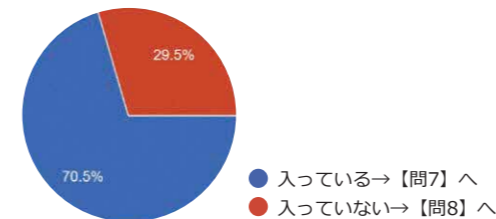
問8 今やっている種目の他に、やってみたいと思っている種目を3つ答えて下さい。また、やっていない人は、やってみたいスポーツがあれば3つ答えて下さい。 198件の回答



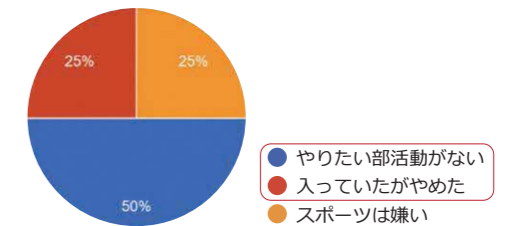
● 【中学生】 授業外スポーツの状況

7割以上が、部活・スポーツクラブでの運動機会が確保されている一方、約3割が未参加、且つそのうちの75%は実施意向があると想定される。

問6 学校の部活動またはスポーツクラブ（運動系）に入っていますか？ 193件の回答



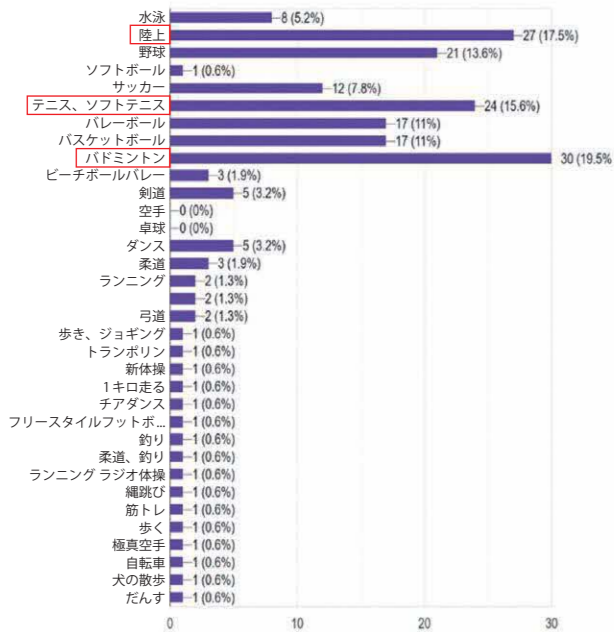
問8 問6で「入っていない」と答えた人に聞きます。なぜ入っていないのですか？ 56件の回答



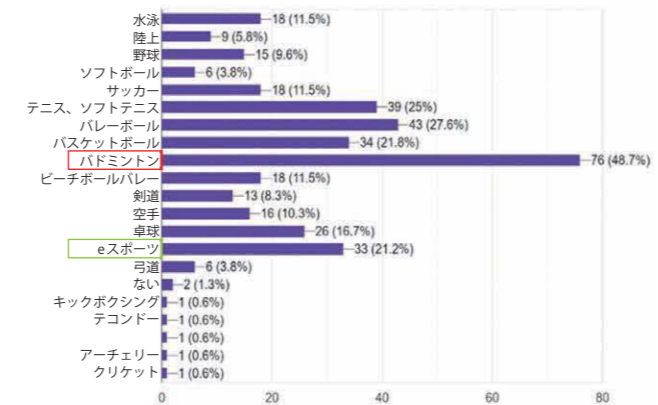
●【中学生】授業外スポーツの状況

バドミントン、陸上、テニスの実施が多く、バドミントンの需要が高い。

問10 問9で運動・スポーツを行っている人は、その種目すべてを答えて下さい。 154件の回答



問11 今やっている部活動・スポーツ以外に今後やってみたいと思っている種目があれば3つ答えてください。また、部活動・スポーツをやっていない人は今後やってみたいスポーツがあれば3つ答えてください。 156件の回答

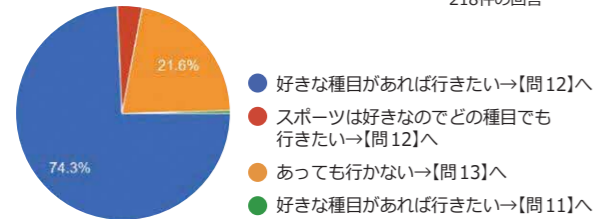


●長洲町内でのスポーツ活動への要望

小学生は、好きな種目への友達との参加意向が非常に高く、中学生は、1人でも気軽に参加できるスポーツ教室の需要が高い。

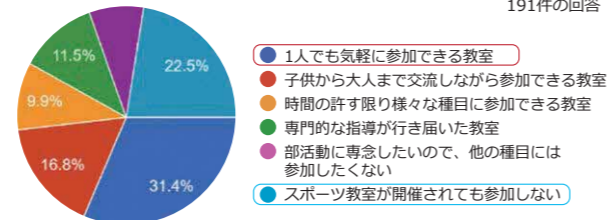
—— 小学5、6年生 ——

問11 長洲町でたくさんのスポーツ教室があるなら行きますか？ 218件の回答

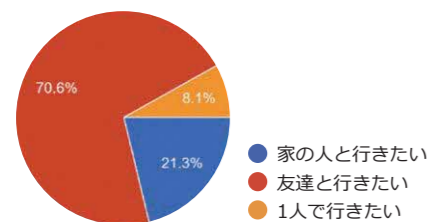


—— 中学1、2年生 ——

問14 今後、長洲町で多種目のスポーツ教室を開催するとしたら、どのようなスポーツ教室を望みますか？1つ選んでください。 191件の回答



問12 問11で「1.好きな種目があれば行きたい」、「2.スポーツは好きなのでどの種目でも行きたい」と答えた人に聞きます。だれで行きたいですか？ 160件の回答



【小学生】スポーツに対する意見

●コメント総数55、要望あり44（80%）、要望なし11（20%）

- ・ 要望の軸：施設新設・整備 20、用具・環境 2、アクセス・開放 1、維持管理・清掃 1
- ・ 具体的要望(頻度上位)：バドミントンコート 3、野球場 2、アスレチック場 2
- ・ 具体的要望(1件ずつの例)：サッカー場/ゴール付きサッカー場/子ども優先の野球場/運動場/走高跳場/ソフトテニス練習場/誰でも利用できる体育館/体育館のクーラー/天井が高い体育館/弓道場/スケートボードパーク/ドーム/サッカーボール/バスケットゴール/運動広場/アイススケート場/バッティングセンター
- ・ 大会・イベント関連：地区の野球・ソフトボール大会希望 3、試合したい 1、試合は控えたい 1
- ・ 教室・習い事関連：充実希望 3、家族による指導希望 1
- ・ 場所確保ニーズ：スポーツする場所の確保希望 1

【中学生】スポーツに対する意見

●コメント総数23、要望あり14（61%）、要望なし9（39%）

- ・ 空調ニーズが最頻：体育館のエアコン 3、B&Gのクーラー 1
- ・ 施設改修：テニスコートを砂からオムニへ 1(砂の高さ調整・固めの要望も同文内)
- ・ 施設新設・整備：遊べる/運動できる施設 1
- ・ プログラム・機会創出：スポーツをする場所・機会の提供 1
- ・ 部活動、クラブ：水泳部の創設 1
- ・ 用具・備品：授業用ソフトテニスラケットの購入 1
- ・ アクセス・利用改善：プールの「暖かい部屋」を使えるように 1
- ・ 啓発：大人の運動促進を伝えてほしい 1
- ・ キーワード傾向：体育館/エアコン/ B&G /テニスコート/水泳部/スポーツの場所・機会、が目立つ

小学生・中学生調査（要約）

- ・スポーツへの好意度は非常に高く、中学生は観戦することにも興味をもつ。
- ・中学生の半数は、部活等で毎日スポーツを行う。
- ・小学生の約7割は、週1～3回スポーツを大人から習っている。
- ・一方で、約2割のスポーツ未参加層が存在。
- ・未参加の主因は、体力不安・苦手意識+機会・競技不足。
- ・バドミントンは小中とも安定した人気で、小学生では水泳が存在感。
- ・中学生はeスポーツへの関心が顕著。

長洲町のスポーツ活動状況に関するアンケート調査（一般用）

調査期間：2025年10月1日～10月24日

調査対象：長洲町在住一般層

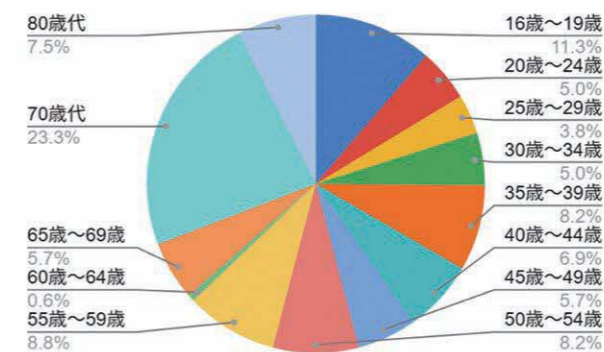
調査方法：紙の調査票、オンラインによる調査の併用

回答数：159件

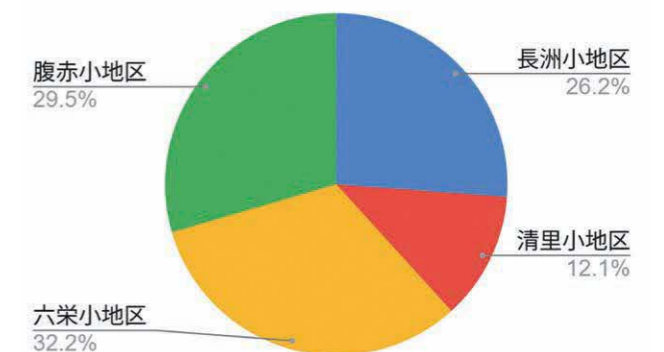
● 一般調査概要（属性）

長洲町内の、16歳～89歳の在住者、合計159名から回答を取得。

問1 あなたの年齢は満でいくつですか。 回答数 = 159



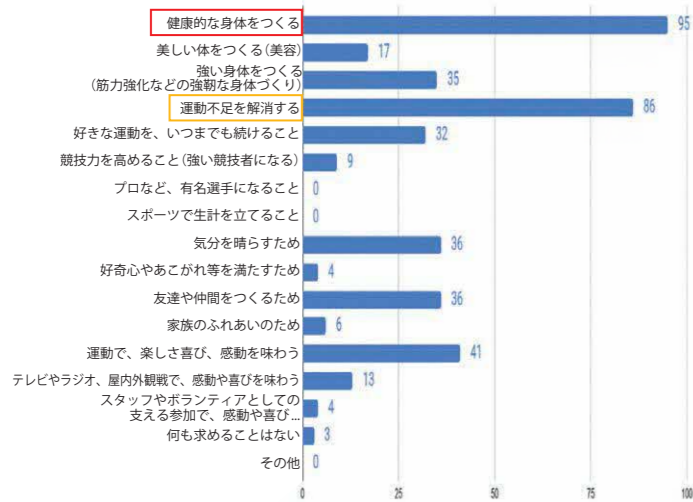
問2 あなたのお住まいの校区に○をつけてください。 回答数 = 149



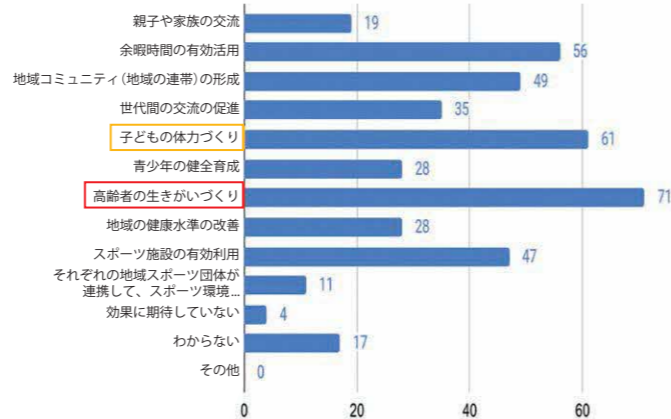
● スポーツをする目的と地域団体への期待

スポーツをする目的は、健康づくりと運動不足の解消が圧倒的多数。
地域のスポーツクラブや団体には、子ども、高齢者の有効活用を期待。

問3 あなたは、どんなことを目的にスポーツをしますか。
(複数回答可)



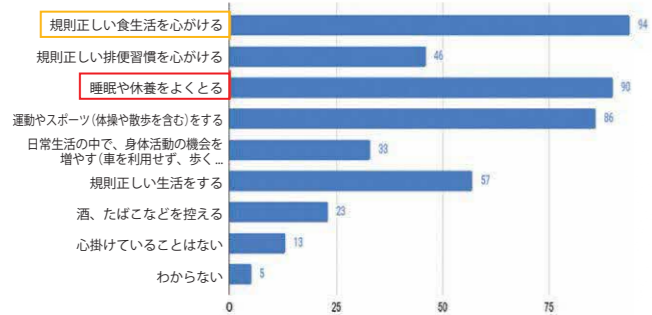
問4 あなたは、地域のクラブ、サークル、NPO法人長洲にここにクラブ(総合型地域スポーツクラブ)など地域団体によるスポーツの推進について、どのような効果を期待しますか。
(複数回答可)



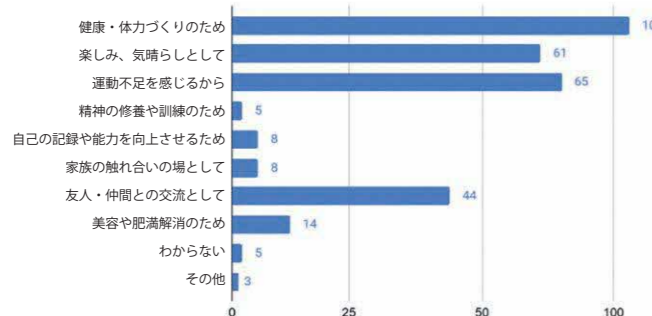
● 健康や体力づくりへの意識

スポーツによる健康促進より、一般生活を送る上での環境改善を重視。
スポーツをしない理由の約3割は、時間的な障壁が原因。

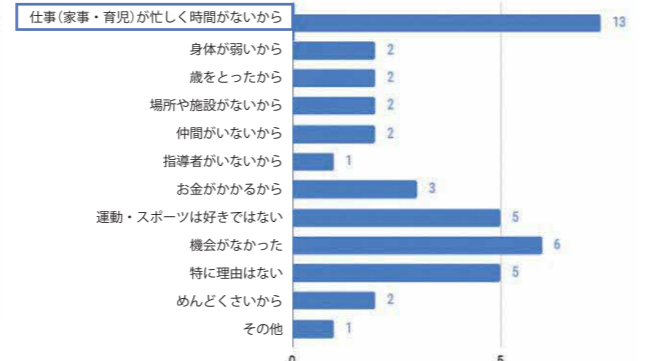
問9 あなたは、日頃ご自分の健康や体力維持増進のために、何か心掛けていることがありますか。あるとすればどのようなことですか。
(複数回答可)



問11-2 あなたが運動やスポーツをしたのは、どのような理由からですか。(3つまで選択)

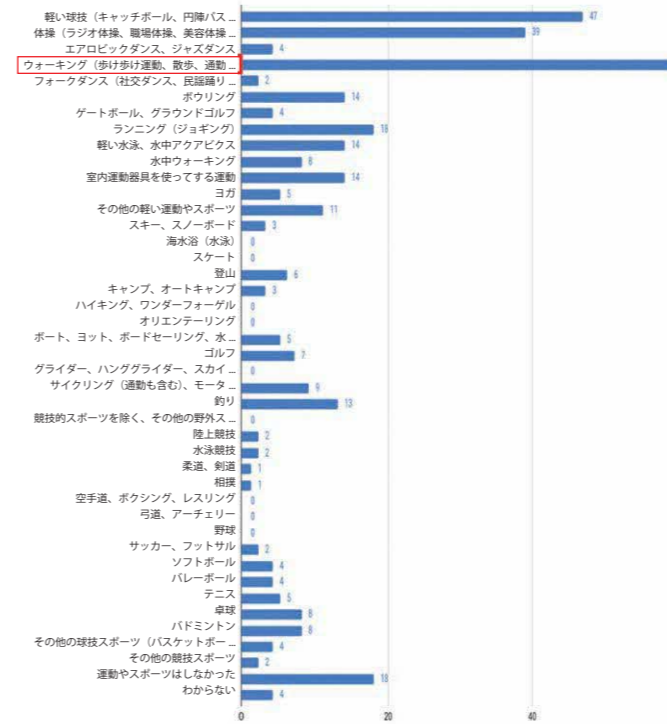


問11-3 この1年間に運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。(複数回答可)



● スポーツの実施状況と頻度

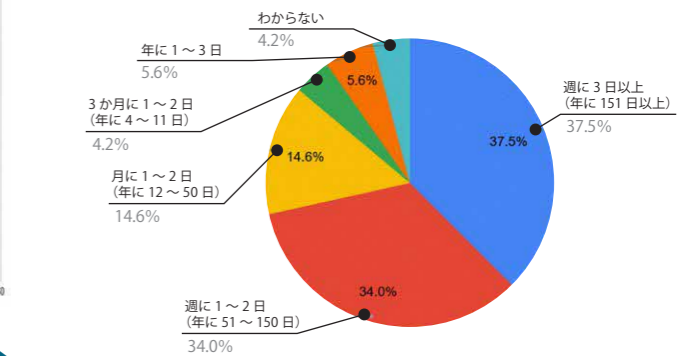
問10 この1年間で1回に30分以上行った運動やスポーツを全部あげてください。通勤等で片道15分以上の徒歩等のように、連続的・断続的にかかわらず意識的に体を動かしている場合には、運動を行っていると考えてください。ただし、学校の体育授業や、職業として行ったものは含みません。(複数回答可)



ウォーキングの実施率が圧倒的に高く、
運動の強度は低め

実施頻度は、
「週3日以上」37.5%、「週1~2日」34%、
定期的運動層(週1回以上)が71.5%と、
継続支援を設計すべき層が一定量存在。

問11-1 その運動やスポーツを行った日数は、
どのくらいですか。(1つだけ選択)

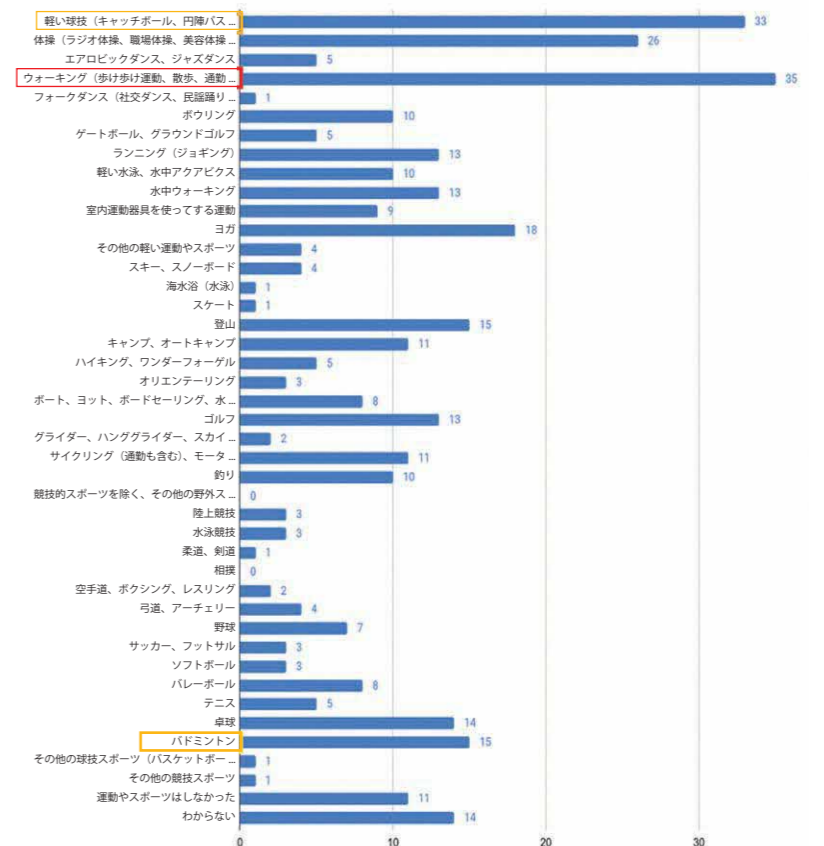


● するスポーツへの関心

問12 現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツがありますか。(複数回答可)

ウォーキング、軽運動等、
一人でも複数人でも楽しめる
種目への関心が高い。

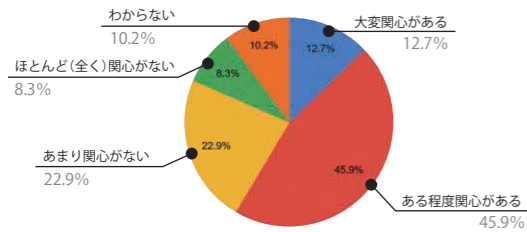
競技スポーツでは、
小中学生と同様に、
バドミントンの需要が高い。



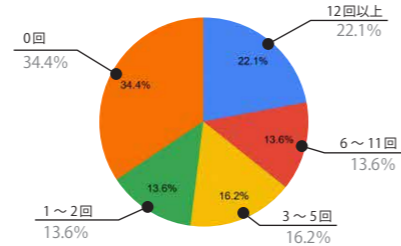
● 見るスポーツへの関心

地元出身選手への関心は二分され、活躍には、施設や指導者の強化、経済的支援が必要と感じている。スポーツの現地観戦率は65.6%が経験ありと多数。

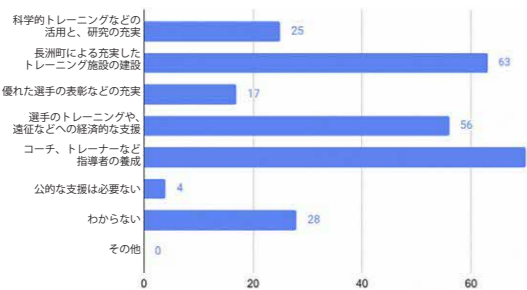
問5 あなたは、各種国際大会や国民スポーツ大会、各種競技の全国大会等での長洲町の選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。(1つだけに○)



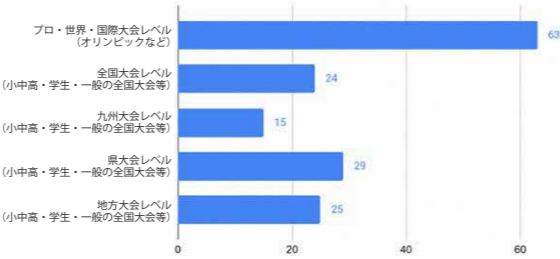
問6 あなたは、テレビやネット配信等映像以外でこの1年間に何回、屋内外スポーツを観戦しましたか。



問8 あなたは、長洲町の選手が各種全国大会や国民スポーツ大会などで活躍するためには、どのような公的支援が必要だと思いますか。(複数回答可)



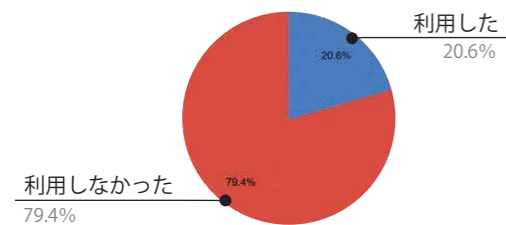
問7 上記の【問6】の質問で1・2・3・4を選んだ方は、そのスポーツ観戦はどのレベルの大会ですか。(複数回答可)



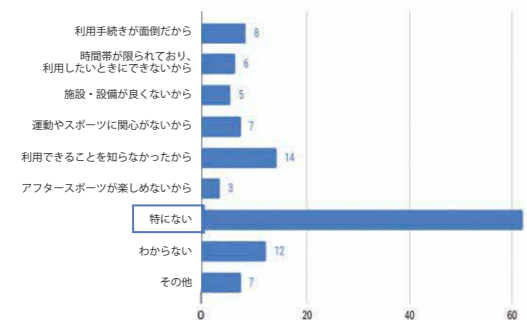
● スポーツ施設について

長洲町内の学校体育施設の利用経験は低く、利用しない理由は特にない。公共スポーツ施設への要望は「近接性×プログラム」と利用情報の充実。

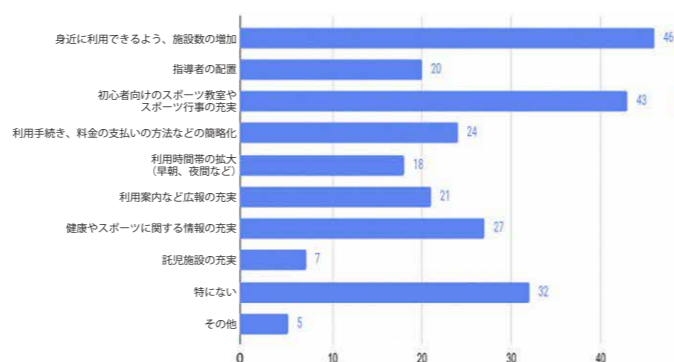
問18 この1年に長洲町の小中学校の体育施設(運動場、体育館)を運動スポーツのために利用しましたか。(学校主催による運動会への参加は除いてください)



問19 利用しなかった理由があるとしたら、どのようなことですか。(複数回答可)



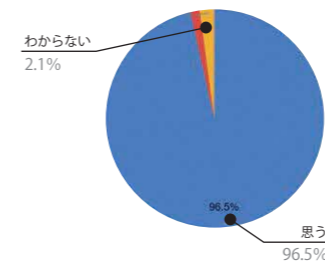
問17 長洲町の体育館、温水プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(複数回答可)



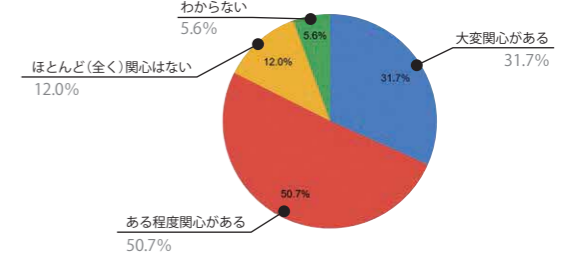
● 幼児期・児童生徒の体力について

幼児、児童の体力低下問題には、8割以上が関心を寄せる。原因は室内遊びの恒常化と捉え、日常や学校内での運動促進に期待をもつ。

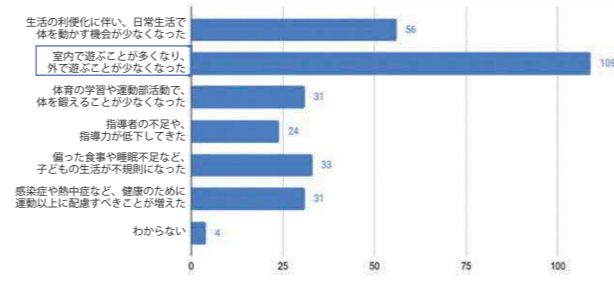
問13 幼児期から、遊びやからだを動かす習慣をつけた方がいいと思いますか。(1つだけ選択)



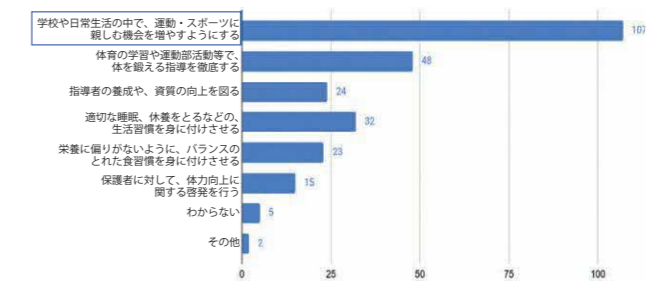
問14 最近、小中高の児童生徒の体力低下が課題となっていますが、このことに関してどう思いますか。(1つだけ選択)



問15 児童生徒の体力低下の原因を、あなたはどのようにお考えですか。(2つまで選択)



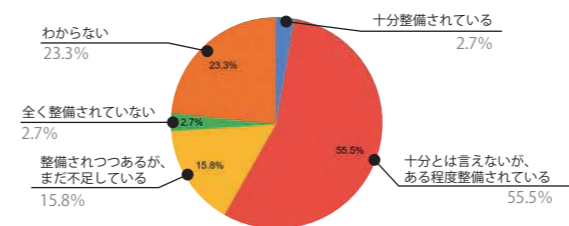
問16 児童生徒の体力を向上させるためには、どのようにしたらよいと思いますか。(2つまで選択)



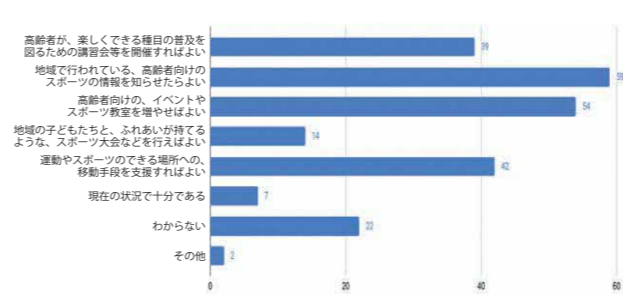
● 高齢者、障がい者のスポーツ環境について

高齢者のスポーツ環境はある程度の評価、参加促進は広報強化と実施頻度増。障がい者のスポーツ環境への認知は低く、バリアフリー化や配慮の強化を希望。

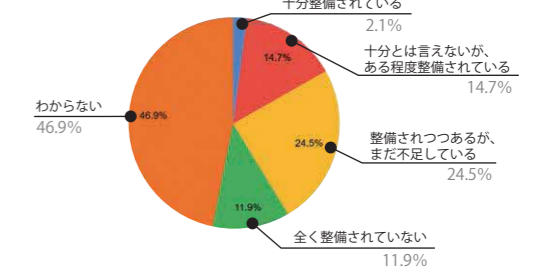
問20 あなたは、高齢者の方々が、運動やスポーツを気軽にできる環境が整備されていると思いますか。



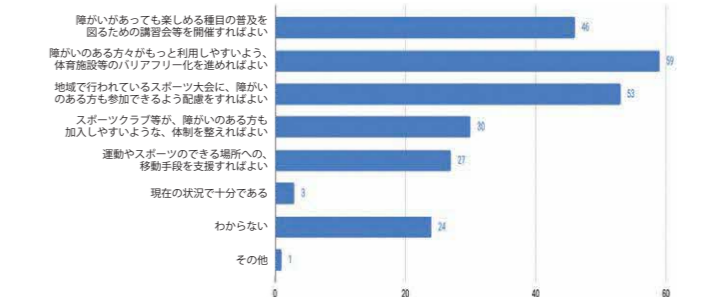
問21 どうすれば更に多くの高齢者が、運動やスポーツにより親しむことができると思いますか。(複数回答可)



問22 障がいのある方々が、運動やスポーツを気軽にできる環境が整備されていると思いますか。



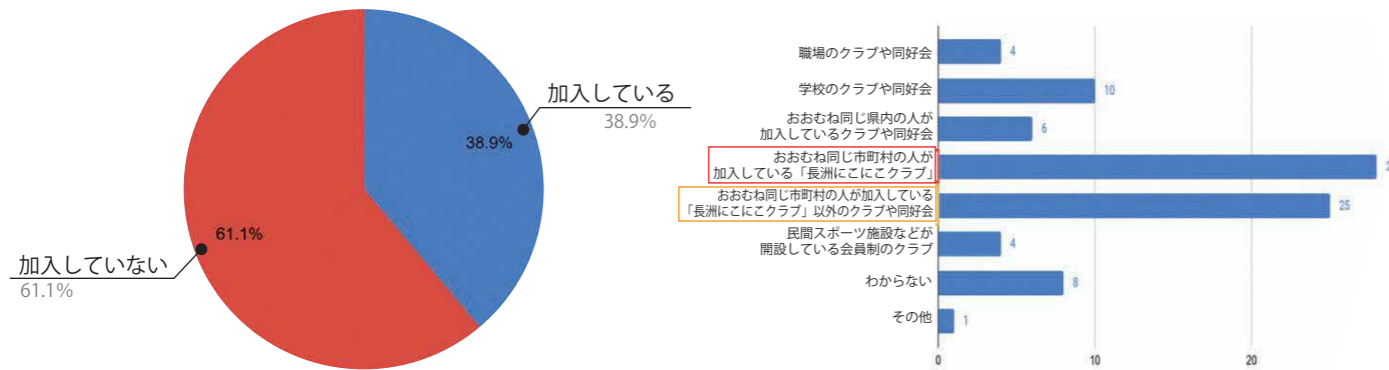
問23 どうすれば障がいのある方々が、運動やスポーツにより親しむことができると思いますか。(複数回答可)



● スポーツ団体への参加について

スポーツクラブや同好会への参加率は38.9%と低め。
参加者は「長洲にここクラブ」など、同市町村内の団体に参加。

問24 運動やスポーツのクラブや同好会に加入していますか。 問25 それは、どのようなクラブや同好会ですか。（複数回答可）



● 長洲町のスポーツ推進への期待

長洲町主導のスポーツ推進には、高齢者と子どもへの効果を期待し、「長洲にここクラブ」には、学校、高齢者施設など他団体との連携に期待。

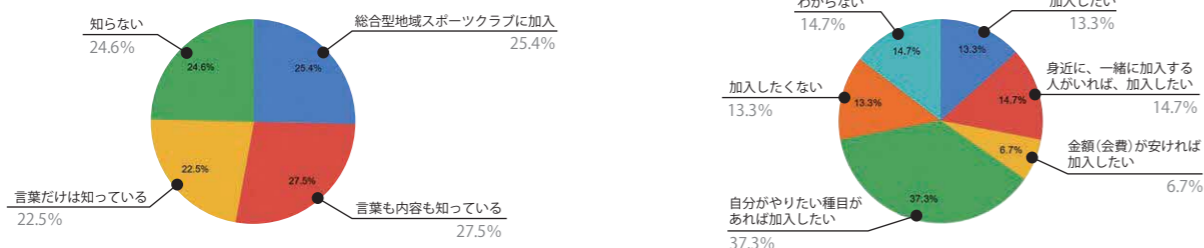
問28 長洲町のスポーツ推進について、どのような効果を期待しますか。（複数回答可） 問27 これからの「NPO法人長洲にここクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」に、どんなことを期待しますか。



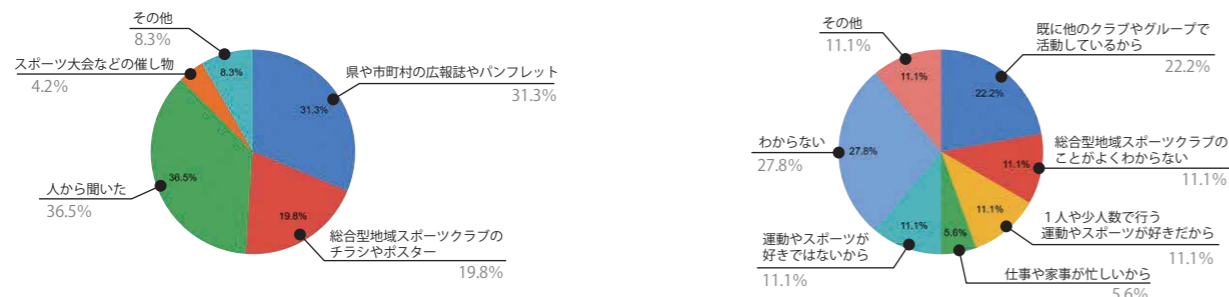
● 長洲にここクラブの認知と参加意向

長洲にここクラブの認知は75.4%と高く、認知経路は半数以上が広報物から。今後の参加意向も72%と非常に高く、大きな不参加理由もない。

問26 「NPO法人長洲にここクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」を知っていますか。 問26-2 「NPO法人長洲にここクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」が近くにあれば加入したいですか。



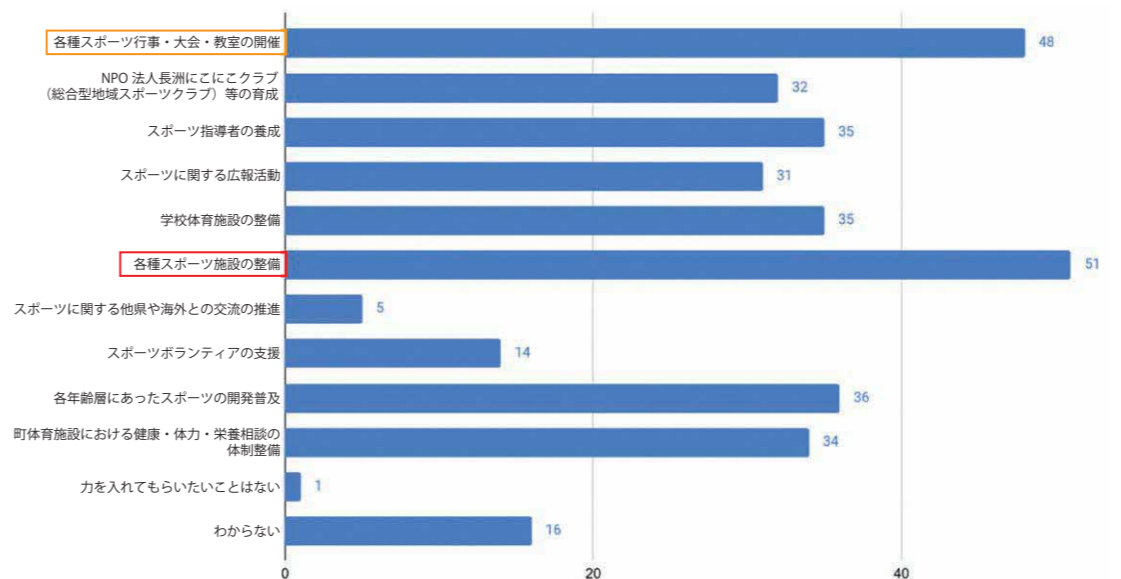
問26-1 「NPO法人長洲にここクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」についてどのようにして知りましたか。 問26-3 「NPO法人長洲にここクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」に加入したくないのはなぜですか。



● スポーツに関するニーズの優先順位

施設整備（ハード）と、利用機会の拡充（プログラム）を同時に求めており、それを支える指導者・クラブ運営が同時に回っていくことに期待。

問29 スポーツをもっと推進させるために、長洲町に今後どのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。（複数回答可）



一般調査（要約）

- ・健康維持・運動不足解消が最優先目的。
- ・ウォーキング人気は全年代で突出。
- ・定期的な軽運動は行っているものの、施設拡充への要望は強い。
- ・総合型地域スポーツクラブへの加入意向はあるが参加率は低め。
- ・子どもの体力低下への危機感は強く、改善策は学校・地域連携が鍵。
- ・子どもと高齢者のスポーツ促進への期待が高い。
- ・施設整備とそれを活かしたプログラム作りへの要望が強い。

第3期 長洲町スポーツ推進計画

発行年月 令和8年3月

発行 長洲町教育委員会

企画編集 長洲町教育委員会
生涯学習課

〒869-0123
熊本県長洲町大字長洲 2760

電話 0968-78-3276

FAX 0968-78-0939

メールアドレス staiku@town.nagasu.lg.jp